Pioneer

ブルーレイディスクプレーヤー

BDP-4110






お取り扱いについてお困りのとき

http://pioneer.jp/support/product/blu.html

カスタマーサポートセンター

フリーコール **0120-944-222**

一般電話 **044-572-8102**

受付時間
月曜～金曜
9:30～18:00
土曜
9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜、祝日、弊社休業日を除きます。)

※「0120」で始まる フリーコールは、PHS、携帯電話などからは、ご利用いただけません。
また、一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

もくじ

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

❖ 異常時の処置



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



万一、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

❖ 設置



付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用いただけません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。



電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

❖ 使用環境



本機の内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧 (交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz) 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法



本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

⚠注意

❖ 設置


電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。


電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。


電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。


電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災·感電の原因となることがあります。


移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。


ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。


本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。


窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。


本機を調理台や加湿器の近くなど、油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。


テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。


本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。


本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります (取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます)。


放熱を良くするため他の機器、壁などから間隔をとり、またラックに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ◆ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- ◆ じゅうたんやふとんの上に置く。
- ◆ テーブルクロスなどをかける。
- ◆ 横倒しにする。
- ◆ 逆さまにする。


本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法


ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。


レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。


長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。


本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。


旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

❖ 保守・点検


お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。


5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意
この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1：2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

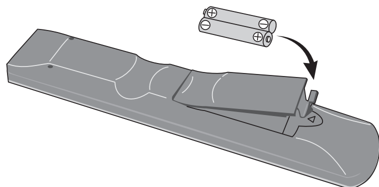
D58-5-2-2a_A1_Ja

- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なることがあります。

付属品を確認する

リモコン× 1
ビデオ / オーディオケーブル× 1
単 4 形乾電池 × 2
保証書
取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる



1 裏ぶたを開ける

2 付属の乾電池〈単 4 形× 2 個〉を入れる

収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

3 裏ぶたを閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

ご注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（⊕極と ⊖極）に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

ソフトウェアの更新について

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/product/blu.html

再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク

下記のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

ご注意

- **他機器で録画したディスクを再生するときは、必ずファイナライズしてください (本機ではファイナライズできません)。**

ディスクの種類		ロゴ	アプリケーションフォーマット					
			BDMV※1	BDAV	DVD ビデオ	DVD VR※3	音楽 CD DTS-CD	データ ディスク※4
ブルーレイディスク (BD)※5	BD-ROM		○	○	×	×	×	×
	BD-R※6		○	○	×	×	×	×
	BD-RE		○	○	×	×	×	×
DVD	DVD-ROM		○	×	○	×	×	○
	DVD-R※5,7,8		○	○※2	○	○	×	○
	DVD-RW※7,9		○	○※2	○	○	×	○
	DVD+R※5,7,10		○	×	○	×	×	○
	DVD+RW※7		○	×	○	×	×	○
CD※11	音楽 CD (CD-DA)		×	×	×	×	○	×
	CD-R		×	×	×	×	○	○
	CD-RW		×	×	×	×	○	○
	CD-ROM		×	×	×	×	○	○

※1 AVCHD フォーマットを含む。
※2 AVCREC フォーマット
※3 DVD-RW/-R(CPRM 対応) に録画されている「1 回だけ録画可能」の番組は再生できないことがあります。
※4 映像、画像または音声ファイルが記録されているディスク。マルチセッションには対応していません。
※5 二層ディスクを含む。
※6 BD-R LTH を含む。
※7 本機で再生するときは、ファイナライズしてください。
※8 オーサリング用の DVD-R（3.95 GB、4.7 GB）は再生できません。
※9 Version1.0 の DVD-RW は再生できません。
※10 VCPS 非対応です。
※11 ビデオ CD を含む。

◆ “Blu-ray Disc”、“Blu-ray”および“Blu-ray Disc”ロゴ は Blu-ray Disc Association の商標です。

◆ DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

❖ 再生できないディスク

- フジカラー CD
- コダックピクチャー CD
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- SACD

上記以外にも再生できないディスクがあります。

本機は NTSC(日本のテレビ方式) に適合しています。ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに「NTSC」と表記されているディスクを再生できます。

お知らせ

・上記表のマークが付いていても、再生できないディスクもあります。
・8 cm ディスクを再生するときは、ディスクトレイの 8 cm ディスク専用の枠にセットしてください。アダプターは不要です。BD-ROM の 8 cm ディスクは再生できません。
・記載の社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

❖ 音声フォーマットについて

本機は下記の音声フォーマットに対応しています。

- ドルビー TrueHD
- ドルビーデジタルプラス
- ドルビーデジタル
- DTS-HD Master Audio
- DTS-HD High Resolution Audio
- DTS Digital Surround
- リニア PCM

ドルビー TrueHD、ドルビーデジタルプラス、DTS-HD Master Audio、または DTS-HD High Resolution Audio を楽しむには、本機と各音声フォーマットに対応している AV アンプを、HDMI ケーブルを使って接続することをお勧めします。また、各音声フォーマットが収録されている BD をセットしたあとに、メニュー画面でその音声フォーマットを選んでください。

各音声の出力条件については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください **(30 ページ)**。

◆ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

◆ 米国特許 5451942 号、5956674 号、5974380 号、5978762 号、6226616 号、6487535 号、7392195 号、7272567 号、7333929 号、7212872 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS および記号は DTS 社の登録商標であり、また、DTS-HD、DTS-HD Master Audio ¦ Essential および DTS のロゴは DTS 社の商標です。製品はソフトウェアを含んでいます。© DTS 社 不許複製。

❖ BD の再生について

- 以下の規格に対応している BD(BDMV) を再生できます。
  ー Blu-ray Disc Read-Only (ROM) Format Version 2
  ー Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 2
  ー Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 3
- 以下の規格に対応している BD(BDAV) を再生できます。
  Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 1
  Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 2

BD-ROM Profile 2 に対応しています。

第 2 映像（ピクチャーインピクチャー）や第 2 音声 (セカンダリオーディオ) などの BONUSVIEW 機能を楽しめます。BONUSVIEW 機能で使用するデータ（第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー)、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)）はメモリーに記憶されることがあります。第 2 映像や第 2 音声の再生などについてはディスクの説明書をご覧ください。

BONUS VIEW ™

◆ “BONUSVIEW” は Blu-ray Disc Association の商標です。

インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータ（予告編映像など）はメモリーに記憶されます。BD-LIVE 機能についてはディスクの説明書をご覧ください。



◆ “BD LIVE” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

BD-ROM では、BD-J(Java) アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含むよりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。



◆ Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

❖ DVD の再生について



◆ この表示は VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録された DVD-RW が再生できる機能を示します。ただし、1 回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM 対応機器で再生が可能です。

AVCREC は、BDAV のコンテンツを DVD で記録 / 再生できるように開発された規格です。

AVCREC™

◆ “AVCREC” および AVCREC は商標です。

AVCHD は、高効率な符号化技術を使ってさまざまなメディアに高精細なハイビジョン信号を記録する、ハイビジョン (HD) デジタルビデオカメラの規格です。

AVCHD™

◆ “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

❖ リージョンナンバー（地域番号）について

ブルーレイディスクプレーヤーと BD-ROM または DVD ビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機（日本向け）のリージョンナンバーは

- BD-ROM：A
- DVD ビデオ：2

です。この番号が含まれていないディスクは再生できません。本機で再生できるディスクは下記のとおりです。

- BD：A（A を含む）、ALL
- DVD：2（2 を含む）、ALL

❖ CD の再生について

- コピーコントロール CD について … この製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

❖ DualDisc の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です (DVD オーディオは除く)。
- DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入したり取り出したりするときに、再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷がついた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

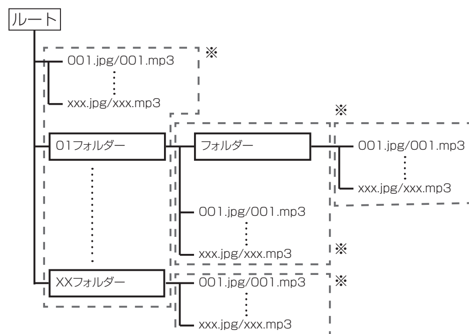
❖ パソコンや BD/DVD レコーダーで作成したディスクの再生について

- アプリケーションの設定やパソコンの環境設定によっては、パソコンで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。
- パソコンや BD/DVD レコーダーで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくない場合、再生できないことがあります。

❖ 映像ファイル、音声ファイル、画像ファイルとフォルダーについて

下記のようにディスクや USB メモリーにフォルダーを作成すると、音声ファイルや画像ファイルを本機で再生することができます。

フォルダー構成例：



※…ルートディレクトリを含め、ひとつのフォルダーに含まれるフォルダーとファイルの数は最大 256 個です。また、フォルダー階層は最大 5 階層にしてください。

お知らせ

・本機で表示されるファイル名やフォルダー名は、パソコン上の表示と異なることがあります。

再生できるファイル

DVD または CD に記録されている動画、画像および音声ファイルを再生できます。

ご注意

・DVD では ISO 9660 ファイルシステムで記録されているファイルだけ再生できます。
・ファイルによっては再生できないことがあります。
・ファイルによっては再生中にできない機能があります。
・本機で再生できるファイルの拡張子が付いていても、再生できないことがあります。
・DRM(デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません (DivX VOD ファイルを除く)。
・DME、CSS、CGMS などで保護されているファイルを再生するときは、**HDMI 出力端子**ではなく、**映像出力端子**をお使いください。そのとき、解像度の設定は 480p 以下に設定してください。

❖ 動画ファイルの対応フォーマット

● DivX HD

◆ プレミアムコンテンツを含む最高 HD 1080p の DivX® ビデオ再生対応の DivX Certified®(DivX 認証) 取得済み。



◆ DivX ビデオについて : DivX® は、DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified®（DivX 認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。

◆ DivX ビデオオンデマンドについて : DivX ビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、この DivX Certified®（DivX 認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、[基本設定] → [再生] → [DivX VOD DRM] で確認できます **(27 ページ)**。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。

◆ DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc. の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

お知らせ

● **重要**

DivX VOD（ビデオ・オン・デマンド）のコンテンツは DiviX DRM（デジタル・ライツ・マネジメント）システムによって保護されています。

認可を受けていない DivX VOD（ビデオ・オン・デマンド）コンテンツを再生しようとすると、エラーメッセージが表示され、再生することができません。

詳しくは、www.divx.com/vod を参照してください。

・DivX VOD（ビデオ･オン･デマンド）ファイルによっては、再生回数を制限されている場合があります。このようなファイルを再生する際は、残りの再生可能な回数が表示され、この数が 0 になると再生できません。([レンタル期間が切れています。] と表示されます。）制限されていないファイルについては、何度でも再生することができます。このとき、残りの再生可能な回数は表示されません。
・DivX ビデオが含まれていないファイルは拡張子が ".avi" であっても再生できません。

● MKV

解像度：1 280 × 720 まで

◆ MKV は複数の音声、映像ファイルを格納できるファイル形式です。

❖ 画像ファイルの対応フォーマット

● JPEG
HD JPEG
プログレッシブ JPEG

ファイルフォーマット：JFIF Ver. 1.02/Exif Ver. 2.2

解像度：4 096 x 4 096 ピクセルまで

❖ 音声ファイルの対応フォーマット

● **MPEG-1 オーディオレイヤー 3 (MP3)**

ビットレート：320 kbps まで

サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

❖ 再生できるファイルの拡張子

● **動画ファイル**

.divx .mkv .avi

● **画像ファイル**

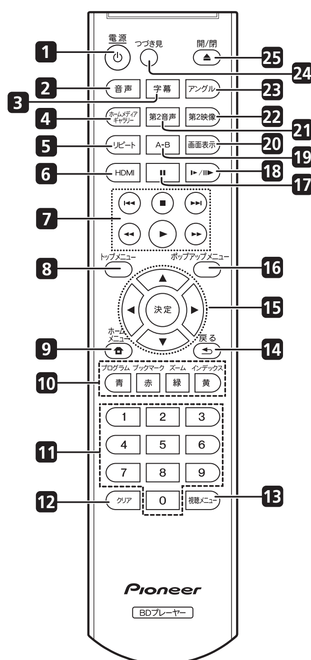
.jpg .jpeg

● **音声ファイル**

.mp3

各部の名前とはたらき

リモコン



1　⏻ 電源
電源をオン / オフ (スタンバイ状態) にします。

2　**音声（20 ページ)**

3　**字幕（20 ページ)**

4　**ホームメディアギャラリー (24 ページ)**

5　**リピート (18 ページ)**

6　HDMI
HDMI 出力端子から出力される映像の解像度を切り換えます。

7　**⏮（前）、⏭（次）(18 ページ)**
■（停止）(17 ページ)
◀◀（早戻し）、▶▶（早送り）(18 ページ)
▶（再生）(17 ページ)

8　**トップメニュー**
BD-ROM または DVD ビデオのトップメニュー画面を表示します。

9　**⌂ ホームメニュー (25 ページ)**

10 **青 / 赤 / 緑 / 黄**
BD-ROM のメニュー画面を操作するときに使います。

プログラム
CD、DVD の再生中に、タイトルまたはチャプター / トラック / ファイルをお好みの順番に登録します **(18 ページ)**。

ブックマーク
ブックマークの登録 / 再生をします **(19 ページ)**。

ズーム
再生中に画像を拡大 / 縮小します。繰り返し押すと拡大 / 縮小の倍率を切り換えます **(19 ページ)**。

インデックス
画像のスライドショー再生中に、サムネイル表示に切り換えます **(19 ページ)**。

11 **数字ボタン**
再生したいタイトル / チャプター / トラック / ファイルの番号を指定して再生するとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

12 **クリア**
番号の入力を取り消すときなどに使います。

13 **視聴メニュー (22 ページ)**

14 **⮌ 戻る**
1 つ前の画面に戻ります。

15 **▲/▼/◀/▶**
項目を選ぶ、または設定を変更するときなどに使います。また、カーソルを移動します。

決定
選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

16 **ポップアップメニュー / メニュー**
BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を表示します。

17 **⏸**
再生中に一時停止するときに使います **(17 ページ)**。

18 **I▶ /II▶**
再生中にスロー再生する、またはコマ送りするときに使います。**(18 ページ)**

19 **A-B (18 ページ)**

20 **画面表示 (20 ページ)**

21 **第2音声 (20 ページ)**

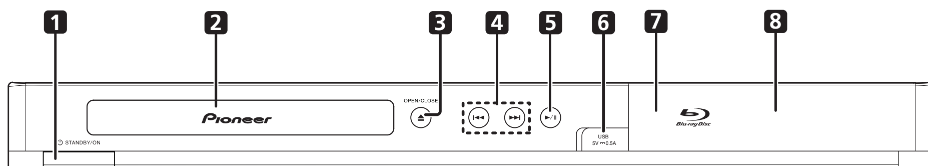
22 **第2映像 (21 ページ)**

23 **アングル (19 ページ)**

24 **つづき見 (23 ページ)**

25 **⏏ 開 / 閉**
ディスクトレイを開閉します。

本体前面部



1 ⏻ STANDBY/ON
電源をオン / オフ (スタンバイ状態) にします。

2 **ディスクトレイ**

3 ⏏ OPEN/CLOSE
ディスクトレイを開閉します。

4 ⏮、⏭
頭出しします **(18 ページ)**。

5 ▶/⏸
再生を開始 / 一時停止します。

6 **USB 端子**
USB メモリーを接続します。

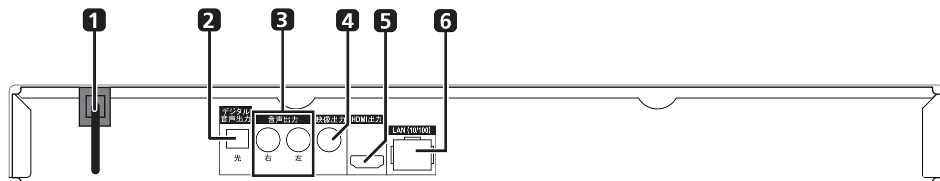
7 **リモコン受光部**
約 7 m 以内の距離からここにリモコンを向けて操作します。
本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

8 **本体表示窓**

 **注意**

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 D3-7-12-5-2a_A1_Ja

本体背面部



1 **電源コード (15 ページ)**

2 **デジタル音声出力 (光) 端子 (14 ページ)**

3 **音声出力端子 (14 ページ)**

4 **映像出力端子 (14 ページ)**

5 **HDMI 出力端子 (12 ページ)**

6 **LAN(10/100) 端子 (15 ページ)**

接続

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

HDMI ケーブルで接続する

1 本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号で HDMI 対応機器に伝送できます。

お知らせ

・HDMI で接続する機器に合わせて [セットアップナビ] で設定してください (**16 ページ**)。
・お使いの HDMI ケーブルによっては 1080p 映像が出力されないことがあります。

HDMI について

本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI™) 技術を組み込んでいます。

HDMI

◆ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本機は、Deep Color に対応しています。
従来の機器では YCbCr 4:4:4 または RGB のカラースペースにおいて、Y と Cb と Cr または R と G と B が 8 bit ずつの映像信号を伝送できましたが、Deep Color 対応の機器では 8 bit を超えた bit 数の信号を伝送できます。Deep Color に対応したテレビを接続すると、より滑らかなグラデーション (色の変化) を再現できます。

本機は、動画色空間規格の国際規格のひとつである「xvYCC」に準拠した "x.v.Color" に対応しています。
"x.v.Color" 表示に対応したテレビなどと接続し、xvYCC に準拠した映像信号を再生した場合、従来より色再現性が拡大され、自然界の色をより忠実に再現できます。
"x.v.Color" とは、動画用広色域色空間の国際規格「xvYCC」に準拠した機器に付す呼称です。

x.v.Color

◆ "x.v.Color" および x.v.Color は、ソニー株式会社の商標です。

❖ 本機の HDMI 出力端子から伝送できる音声

- ドルビー TrueHD
- ドルビーデジタルプラス
- ドルビーデジタル
- DTS-HD Master Audio
- DTS-HD High Resolution Audio
- DTS Digital Surround
- リニア PCM

詳しくは、「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください (**30 ページ**)。

❖ HDMI ハイスピード伝送について

本機は、1080/60p および Deep Color の映像信号を出力できます。お使いのテレビが 1080/60p または Deep Color に対応しているときは、本機とテレビの性能を発揮するために High Speed HDMI™ ケーブルをお使いください。
High Speed HDMI™ ケーブルは 1080p 映像信号の伝送試験に合格しています。また、Deep Color に対応した 1080/24p、1080/60i、1080/60p、および 720/60p の映像信号も伝送できます。

❖ DVI 機器と接続したとき

- **HDCP に対応していない DVI 機器 (パソコンのディスプレイなど) には接続できません。** HDCP とは、DVI/HDMI 接続で音声・映像コンテンツを保護するための規格です。
- 音声が出力されません。オーディオケーブルなどで接続してください。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続したとき、DVI 機器によっては正常に動作しないことがあります。

HDMI によるコントロール機能について

HDMI によるコントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビや AV 機器 (AV アンプなど) と本機を HDMI ケーブルで接続すると、フラットテレビなどから本機を操作できます。

フラットテレビや AV 機器 (AV アンプなど) の取扱説明書もあわせてご覧ください。

❖ HDMI によるコントロール機能を使うには

- HDMI によるコントロール機能は、HDMI ケーブルで接続されているすべての機器の HDMI によるコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。
- 接続および各機器の設定が終わったら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、HDMI によるコントロール機能が正常に動作しないことがあります。
- HDMI によるコントロール機能を使うときはハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。それ以外の HDMI ケーブルでは HDMI によるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
- 機器によっては HDMI によるコントロール機能が「KURO LINK」または「HDMI コントロール」と表記されていることがあります。
- 本機は HDMI で定められた標準コマンドで動作しますが、他社の機器の動作は保証できません。

❖ HDMI によるコントロール機能でできること

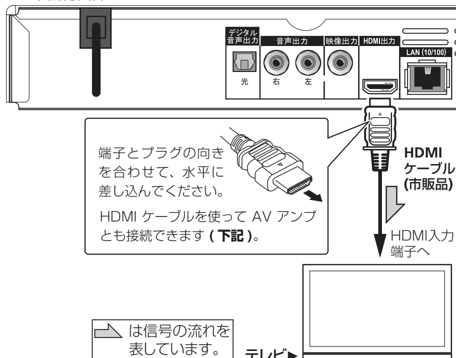
- **HDMI によるコントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビに最適な画質での映像出力**
  HDMI によるコントロール機能が働いているときは、本機の **HDMI 出力端子**から最適な画質の映像信号が出力されます。
- **テレビからの操作機能**
  フラットテレビから、本機の再生、停止、メニューの表示などの操作ができます。
- **オートセレクト機能**
  本機の再生を始める、またはホームメニューなどを表示すると、フラットテレビや AV 機器 (AV アンプなど) の入力が自動で切り換わります。入力が切り換わると、再生画面またはホームメニューがフラットテレビに表示されます。
- **電源連動機能**
  本機の再生を始める、またはホームメニューなどを表示すると、フラットテレビの電源がオフだったときは、自動でオンになります。また、フラットテレビの電源をオフにすると、本機の電源も自動でオフになります。

テレビと接続する

HDMI ケーブルで AV アンプも一緒に接続するときは、「AV アンプと接続する」をご覧ください **(下記)**。

ご注意

- ケーブルは、プラグを持って抜き差ししてください。
- プラグに負担がかかると、接触不良が発生して、映像が出力されないことがあります。

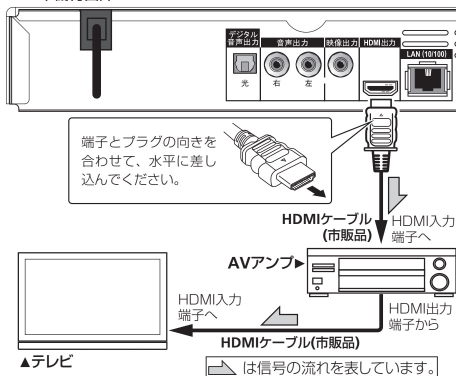


AV アンプと接続する

ドルビー TrueHD、ドルビーデジタルプラス、ドルビーデジタル、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、または DTS Digital Surround などのサラウンドサウンドを楽しむには、AV アンプと接続します。AV アンプとテレビ、および AV アンプとスピーカーの接続については、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ケーブルは、プラグを持って抜き差ししてください。
- プラグに負担がかかると、接触不良が発生して、映像が出力されないことがあります。



ビデオ / オーディオケーブルで接続する

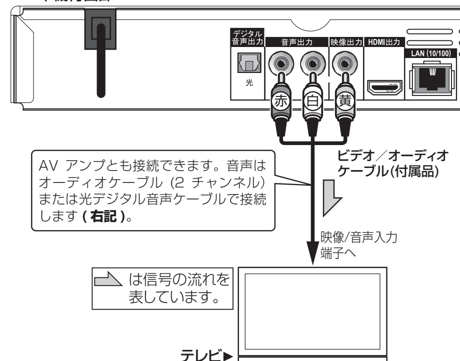
お知らせ

- 接続したケーブルの種類に合わせて [セットアップナビ] で設定してください **(16 ページ)**。
- 映像を出力するには、ビデオケーブルを使って接続します (HDMI ケーブルを使って接続したときを除く)。

ビデオ / オーディオケーブルでテレビと接続する

ご注意

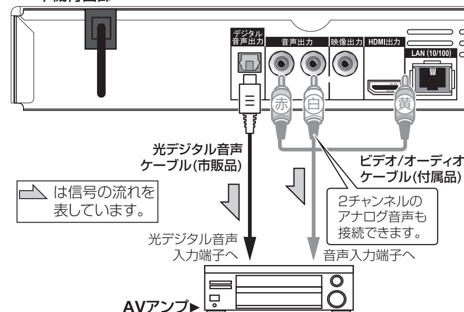
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**本機はアナログコピープロテクト方式のコピー保護技術に対応しています。そのため、DVD レコーダー / ビデオデッキを通してテレビと接続したり、プレーヤーの出力を DVD レコーダー / ビデオデッキで録画して再生すると、映像が正しく映らないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピー保護によって映像が正しく映らないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



お知らせ

- ビデオケーブルで接続したときは、480i または 480p の解像度でのみ映像が出力されます。
- [解像度] の設定によっては、映像が出力されないことがあります **(29 ページ)**。

光デジタル音声ケーブルで AV アンプを接続する



お知らせ

- AV アンプで映像を切り換えるときは**映像出力端子**も接続してください。

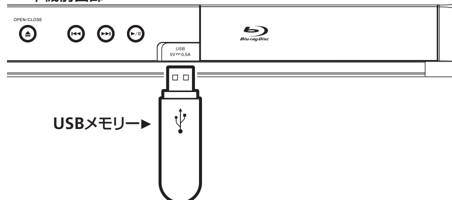
USB メモリーを接続する

BD-ROM を再生したときの BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや、BONUSVIEW 機能で使用するデータを **USB 端子**に接続した USB メモリーに記憶できます。

ご注意

・USB メモリーを接続するまたは取り外すときは、必ず本機の電源をオフにしてください。
・USB メモリーが書き込み禁止になっているときは、書き込み禁止を解除してください。
・USB メモリーは、端子の向きを合わせて水平に抜き差ししてください。
・端子に負担がかかると、接触不良が発生して、USB メモリーのデータが読み書きできないことがあります。
・USB メモリーを接続して本機の電源をオンにしているときは、電源コードを抜かないでください。

▼ 本機前面部



お知らせ

・USB 延長ケーブルは使用しないでください。USB 延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。

USB メモリーについて

本機に接続できる USB メモリーは下記のとおりです。

● USB2.0 対応
● ファイルシステムが FAT16 または FAT32、容量 1 GB 以上 (推奨2 GB 以上)

お知らせ

・上記以外のファイルシステムで初期化されているときは使用できません。
・USB メモリーに複数のパーティションの設定をしているときは、認識しないことがあります。
・USB メモリーによっては動作しないことがあります。
・接続する USB メモリーの動作保証はできません。

ネットワークに接続する

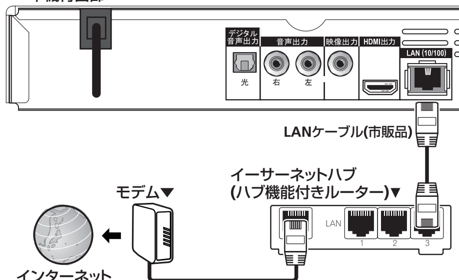
インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。インターネットにつながっているイーサネットハブ (またはハブ機能付きルーター) と本機を接続します。

必ず 10/100BASE-TX 対応のイーサネットハブやルーターに接続してください。

イーサネットハブと接続する

本機は、LAN ケーブルを使ってイーサネットハブと接続できます。

▼ 本機背面部



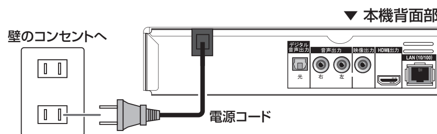
お知らせ

・インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
・接続するネットワーク環境に有効な DHCP サーバーがあるときは、IP アドレスは自動で設定されます。有効な DHCP サーバーがないときは、IP アドレスを手動で設定してください **(28 ページ)**。
・プロバイダによっては個別でネットワークの設定が必要なことがあります **(28 ページ)**。
・弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関連する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。

電源コードを接続する

電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

▼ 本機背面部



セットアップナビを使って設定する

下記のときは、必ずこの設定を行ってください。

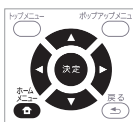
- はじめて本機をお使いになるとき
- [基本設定]の[初期設定に戻す]を実行したとき **(28ページ)**
- 本機のソフトウェアを更新 (アップデート) したとき **(31 ページ)**

ご注意

・本機の電源をオンにする前に、本機と他機器が正しく接続されているか確認してください。また、本機の電源をオンにする前に、本機と接続している機器の電源をオンにしておいてください。
・HDMI によるコントロール機能対応のパイオニア製フラットテレビまたはプロジェクターをお使いのときは、本機の電源をオンにする前にお使いの機器の操作画面の言語を設定してください。

お知らせ

・HDMI によるコントロール機能対応のパイオニア製フラットテレビまたはフロントプロジェクターと本機を HDMI ケーブルで接続しているときは、接続した機器に最適な画質を本機が自動で設定します。



1 接続しているテレビの電源をオンにして、入力を切り換える

- テレビの操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

2 ⏻ 電源ボタンを押して電源をオンにする

⏻ **電源ボタン**を押します。

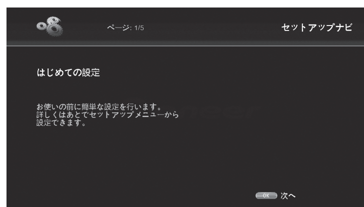
- セットアップナビが表示されているか確認してください。

❖ セットアップナビが表示されないとき

ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示します。[基本設定] → [システム] → [セットアップナビ] を選んで、**決定ボタン**を押します。

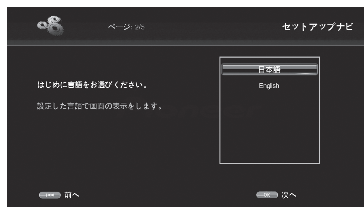
3 確認画面で決定する

決定ボタンを押します。



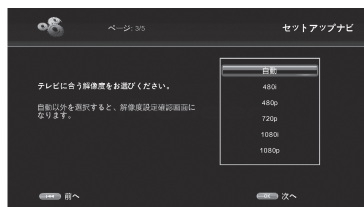
4 テレビ画面に表示されるメニューの言語を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。**(26 ページ)**



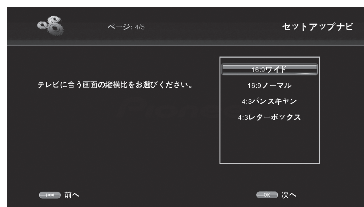
5 接続しているテレビに合う解像度を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します **(29 ページ)**。



6 接続しているテレビの縦横比を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します **(29 ページ)**。



7 セットアップナビを終了する

決定ボタンを押します。

- 設定が完了します。



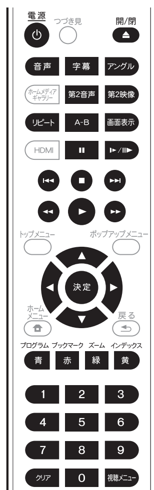
- 前ページに戻るときは、**⏮ (前) ボタン**を押して [前へ] を選びます。

再生

ディスク / ファイルを再生する

ここでは、本機の主な操作について説明します。

再生できるディスクについては「再生できるディスク」をご覧ください (**6 ページ**)。再生できるファイルについては「再生できるファイル」をご覧ください (**9 ページ**)。ディスクに記録されている画像や音声ファイルは、ホームメディアギャラリーを使って再生します (**24 ページ**)。



1 ⏻ 電源ボタンを押して電源をオンにする

- あらかじめテレビの電源をオンにして、入力を切り換えておいてください。

2 ⏏ 開 / 閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする

お知らせ



- 印刷のある面を上にしてディスクをセットしてください。
- ディスクの読み込みには数十秒かかります。読み込みが終了すると本体表示窓にディスクの種類が表示されます。

3 ⏏ 開 / 閉ボタンを押してディスクトレイを閉じる

4 ▶ (再生) ボタンを押して再生する

- 停止するには、再生中に **■ (停止) ボタン**を押します。

お知らせ

- ディスクトレイを閉じると自動で再生を始めるディスクもあります。
- BD-R/-RE、DVD-R/-RW(VR フォーマット) では、自動でホームメディアギャラリーを表示します (**24 ページ**)。
- BD-ROM/DVD ビデオには、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、[パスワード変更] で登録したパスワードを入力してください (**27 ページ**)。
- BD-R/-RE には、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。
- 映像や音声が正しく出力されないときは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください (**41 ページ**)。

❖ メニュー画面 (ディスクメニュー) が表示されたとき

ディスクによっては、再生を始めると自動でメニュー画面を表示する場合があります。メニュー画面の内容や操作方法は、ディスクによって異なります。

❖ 停止した場所から再生する (つづき再生)

- 再生中に **■ (停止) ボタン**を押すと、停止した場所を記憶します。**▶ (再生) ボタン**を押すと停止した場所から再生します。
- 画像ファイルをスライドショー再生していたときは、表示されていた画像ファイルから再生します。
- つづき再生を解除するには、停止中に **■ (停止) ボタン**を押します。

お知らせ

- ホームメディアギャラリーのリスト画面を切り換えたときも、つづき再生は自動で解除されます (**24 ページ**)。
- 再生したい箇所を指定してつづき見再生をしたいときは、**23 ページ**をご覧ください。
- つづき再生できないディスクもあります (BD-J アプリケーション (**47 ページ**) が含まれている BD ビデオなど)。ディスクに BD-J アプリケーションが含まれているかどうかは、ディスクメーカーにお問い合わせください。
- [ラストメモリー] を [オン] にすると、ディスクトレイを開けたあとや電源をオフにしたあとでも、続きから再生できます (**26 ページ**)。

一時停止する

1 再生中に ❚❚ ボタンを押す

- テレビ画面に [❚❚ 一時停止] と表示されます。

❖ 一時停止した場所から再生する

▶ (再生) または **❚❚ ボタン**を押すと、一時停止した場所から再生します。

早送り / 早戻しする

1 再生中に ◀◀ (早戻し) または ▶▶ (早送り) ボタンを押す

- 押すたびに早送り / 早戻しのスピードを切り換えられます。スピードは以下のように切り換わります（テレビ画面に表示されます)。

  ▶▶ 2x → ▶▶ 4x → ▶▶ 8x → ▶▶ 16x → ▶▶ 32x → ノーマル（▶ 再生）

  ◀◀ 2x → ◀◀ 4x → ◀◀ 8x → ◀◀ 16x → ◀◀ 32x → ノーマル（▶ 再生）

❖ 通常の再生に戻すには

▶ **(再生) ボタン**を押します。

頭出しする

1 |◀◀ (前) または ▶▶| (次) ボタンを押す

- **▶▶| (次) ボタン**を押すと、次のタイトル / チャプター / トラック / ファイルの先頭に進みます。
- **|◀◀ (前) ボタン**を押すと、再生中のタイトル / チャプター / トラック / ファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に I▶/II▶ ボタンを押す

- 押すたびにスロー再生のスピードを切り換えられます。スピードは以下のように切り換わります（テレビ画面に表示されます)。

  1/16 x → 1/8 x → 1/4 x→ 1/2 x→ ノーマル (▶ 再生)
- 一時停止中に **I▶/II▶ ボタン**を押すと、押すたびにコマ送りします。

❖ 通常の再生に戻すには

▶ **(再生) ボタン**を押します。

指定した箇所を繰り返し再生する (A-B リピート再生)

1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。

1 再生中に A-B リピート再生を始める箇所で A-B ボタンを押す

- テレビ画面に [A-] と表示されます。

2 A-B リピート再生を終了する箇所で A-B ボタンを押す

- テレビ画面に [A-B] と表示され、A-B リピート再生を始めます。

❖ A-B リピート再生を解除するには

A-B リピート再生中に **A-B ボタン**を押します。

お知らせ

・下記のとき A-B リピート再生は解除されます。
　ー アングルを切り換えたとき。
　ー リピート範囲外をサーチしたとき。
　ー 他のリピートまたはランダム / シャッフル再生を始めたとき。

繰り返し再生する (リピート再生)

再生中のディスク / タイトル / チャプター / トラック / ファイルを繰り返し再生します。

1 再生中にリピートボタンを押す

- 押すたびに、リピートモードを切り替えられます。リピートモードは以下のように切り換わります (テレビ画面に表示されます)。

BD

CH（再生中のチャプター）→ TT（再生中のタイトル）

DVD

CH（再生中のチャプター）→ TT（再生中のタイトル）→ All (全てのタイトル）

CD/JPEG/MP3

（再生中のトラック / ファイル)→ All (すべてのトラック / ファイル)

❖ リピート再生を解除するには

再生中に**リピートボタン**をマークが表示されなくなるまで繰り返し押します。

お知らせ

・再生しているディスクまたはファイルによってリピートの種類が異なります。
・下記のとき、リピート再生は解除されます。
　ー アングルを切り換えたとき。
　ー リピート範囲外をサーチしたとき。
　ー 他のリピートまたはランダム / シャッフル再生を始めたとき。

タイトルまたはチャプター / トラック / ファイルをお好みの順番で再生する (プログラム再生)

1 再生中にプログラム (青) ボタンを押す

- プログラム画面が表示されます。

2 プログラム番号を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3 再生する [TT] (タイトル) を選ぶ

▲/▼ **ボタン**で選んで、▶ **ボタン**を押します。

4 再生する [CH]（チャプター）を選ぶ

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 他のプログラム番号に入力するときは、手順2から 4 を繰り返してください。

5 ▶ (再生) ボタンを押して再生する

❖ プログラムの内容を修正するには

修正するプログラム番号を選んで、**決定ボタン**を押します。▲/▼ **ボタン**でタイトル / チャプターなどを選んで、**決定ボタン**を押します。

❖ プログラムを消すには

- 消したいプログラム番号を選んで、**クリアボタン**を押します。
- プログラムを全て取り消すには、⮌ **戻るボタン**を押します。

お知らせ

・音楽 CD のときは、トラック (Track) 番号を入力します。

再生中の箇所にブックマークをつける

再生中の映像の好きな場面にブックマークをつけ、その場面をあとから再生できます。

1 再生中にブックマーク (赤) ボタンを押す

- ブックマークが登録されます。
- 最大で 12 箇所まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、[⦸] が表示されます。

❖ 登録した箇所を再生する

1 ブックマーク (赤) ボタンを押し続ける

- ブックマーク一覧が表示されます。

2 再生するブックマークを選んで再生する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 選んだブックマークから再生が始まります。

❖ ブックマークを消すには

消したいブックマークを選んで、**クリアボタン**を押します。

お知らせ

・ブックマークできないディスクや場面もあります。
・下記のときブックマークは解除されます。
　ー 電源をオフにしたとき。
　ー ディスクトレイを開けたとき。
　ー 映像ファイルの再生中に、タイトルが変わったとき。

画像を拡大 / 縮小する（ズーム）

1 再生中にズーム (緑) ボタンを押す

- 押すたびに倍率を切り換えられます。倍率は以下のように切り換わります (テレビ画面表示されます)。
  ズーム 2x ➞ ズーム 3x ➞ ズーム 4x➞ ズーム 1/2x ➞ ズーム 1/3x ➞ ズーム 1/4x ➞ ノーマル (表示されません）

お知らせ

・ズームできないディスクもあります。

写真をサムネイル表示する

ディスク内の写真のサムネイル一覧を表示します。

1 再生中にインデックス (黄) ボタンを押す

- 再生中の写真から、一度に 12 枚ずつサムネイル表示します。
- 写真を選び**決定ボタン**を押すと、選んだ写真からスライドショーが始まります。

❖ 前後のページに移動するには

⏮ (前) ボタンまたは **⏭ (次) ボタン**を押します。

❖ サムネイル表示を解除するには

もう一度**インデックス (黄) ボタン**を押します。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている BD-ROM または DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。

1 再生中にアングルボタンを押す

- 現在のアングルと収録されているアングルの総数がテレビ画面に表示されます。アングルを切り換えるには、再度**アングルボタン**を押します。
- 視聴メニューから [アングル] を選んでも切り換えられます。
- **アングルボタン**を押してもアングルが切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

お知らせ

・アングルを切り換えられないディスクもあります。

字幕を切り換える

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えられます。

ご注意

・レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。録画した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 再生中に字幕ボタンを押す

- 現在の字幕と収録されている字幕の総数がテレビ画面に表示されます。字幕を切り換えるには、再度**字幕ボタン**を押します。
- 視聴メニューから [字幕] を選んでも切り換えられます。
- **字幕ボタン**を押しても字幕が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

❖ 字幕を消すには

字幕ボタンを押す、または視聴メニューから [字幕] を選んで、設定を [オフ] にしてください。

お知らせ

・ファイルによっては、字幕が正常に表示されない場合があります。

音声や第 2 音声を切り換える

複数の音声が収録されているディスクやファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。

また、BD-ROM に収録されている第 2 音声 (セカンダリオーディオ) も切り換えられます。

1 再生中に音声ボタンまたは第 2 音声ボタンを押す

- 現在の音声と収録されている音声の総数がテレビ画面に表示されます。
  音声を切り換えるには、再度**音声ボタン**または**第 2 音声ボタン**を押します。
- 第 2 音声を切り換えるときは、**第 2 音声ボタン**を押します。
- 視聴メニューから [音声] または [第 2 音声] を選んでも切り換えられます。
- **音声ボタン**または**第 2 音声ボタン**を押しても音声や第 2 音声が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

❖ 第 2 音声を消すには

第 2 音声ボタンを押すか、視聴メニューから [第2音声] を選んで設定を [オフ] にしてください。

ディスクの情報を見る

1 画面表示ボタンを押す

テレビ画面に表示されます。もう一度押すと表示が消えます。

再生中と停止中で表示される情報が異なります。

BONUSVIEW や BD-LIVE を楽しむ

本機は BD ビデオの BONUSVIEW や BD-LIVE に対応しています。

BONUSVIEW 対応の BD ビデオでは、第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー)、第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) などが楽しめます。BD-LIVE 対応の BD ビデオでは、インターネットを経由して、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできます。

BD ビデオに記録されているデータや BD-LIVE からダウンロードしたデータは、USB メモリー（外部メモリー）に保存されます。これらの機能を楽しむときは、USB 2.0High Speed(480 Mbit/s) 対応の USB メモリー (最小容量 1 GB、推奨 2 GB 以上) を本体前面部の **USB 端子**に接続してください。また、BD-LIVE 動作時は本体前面部の **USB 端子**に、USB メモリーを接続しないでください。

- USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- USB メモリーに保存されている情報を再生するときは、ダウンロードしたときに視聴していたディスクをセットしてください (他のディスクをセットしているときは、USB メモリーに保存されている情報を再生できません)。
- 他のデータが記録された USB メモリーを使用すると、映像や音声が正しく再生されないことがあります。
- 再生中に USB メモリーを本機から取り外すと、再生が停止します。再生中は USB メモリーを取り外さないでください。
- データの読み込み、書き込みに時間がかかることがあります。

ご注意

・USB メモリーの空き容量が少ないと、BONUSVIEW や BD-LIVE 機能が使えないことがあります。このときは [基本設定]→[システム]→[BUDA] を選んで、USB メモリー内の不要なデータを消去してください **(26 ページ)**。

お知らせ

・接続する USB メモリーの動作保証はできません。
・BD-LIVE 機能のデータなどの再生はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
・BD-LIVE 機能を楽しむには、ネットワークの接続と設定をしてください **(15、27 ページ)**。
・BD-LIVE 機能でインターネットに接続するときの制限については [BD-LIVE 接続] をご覧ください **(27 ページ)**。
・BD-LIVE は、自動でインターネットに接続して楽しむ機能です。BD-LIVE 対応ディスクが、本機やディスクの識別信号 (ID) をインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。
・自動でインターネットに接続しないように設定できます。[基本設定]→[ネットワーク]→[BD-LIVE 接続] を選んで、設定を [一部許可] または [禁止] にしてください。詳しくは **27 ページ**をご覧ください。

第 2 映像を切り換える

BD-ROM に収録されている第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー) を切り換えられます。

1 再生中に第 2 映像ボタンを押す

- 現在の第 2 映像と収録されている第2映像の総数がテレビ画面に表示されます。
  第 2 映像を切り換えるには、再度**第 2 映像ボタン**を押します。
- 視聴メニューから [第 2 映像] を選んでも切り換えられます。
- **第 2 映像ボタン**を押しても第 2 映像が切り換わらないときは、メニュー画面で切り換えてください。

❖ 第 2 映像を消すには

第 2 映像ボタンを押すか、視聴メニューから [第2映像] を選んで設定を [オフ] にしてください。

再生機能について

ディスクやファイルによってできる機能が異なります。下記の表でご確認ください。

機能※1	ディスク / ファイルの種類									
	BD-ROM	BD-R/-RE	DVD ビデオ	DVD-R /-RW (VRフォーマット)	AVCREC	AVCHD	映像 ファイル	画像 ファイル	音声 ファイル	音楽 CD
一時停止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
早送り / 早戻し※2	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	×	○※4	○※4
つづき再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コマ送り※2	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
頭出し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A–B リピート※2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
リピート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
アングル切換※5	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
字幕切換※6	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
音声 / 第 2 音声切換※7	○※8	○※9	○※9	○※9	○※9	○※9	○※9	×	×	×
第 2 映像切換※10, 11	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ディスク情報表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 表で [○] になっていても、ディスクやファイルによって働かない機能があります。
※2 チャプターが切り換わると、自動で通常の再生に戻るディスクもあります。
※3 早送り / 早戻し中は音声が出ません。
※4 早送り / 早戻し中は音声が出ます。
※5 複数のアングルが収録されていないディスクもあります。
※6 ・収録されている字幕の種類はディスクによって異なります。
・現在の字幕と収録されている字幕の総数が表示されないですぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。
※7 ・収録されている第 2 音声の種類はディスクによって異なります。
・現在の第2音声と収録されている第2音声の総数が表示されないですぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。
※8 第2音声が収録されていない BD-ROM もあります。
※9 第2音声はありません。
※10 現在の第2映像と収録されている第2映像の総数が表示されないですぐに切り換わる、または BD-ROM で用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。
※11 第2映像が収録されていない BD-ROM もあります。

視聴メニューを使う

本機の動作状況に応じて、いろいろな機能を呼び出せます。



視聴メニュー画面を操作する

1 再生中に視聴メニューボタンを押す

視聴メニュー画面が表示されます。



2 項目を選んで決定する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- 変更できない項目もあります。また、本機の状態によって選択できる項目が異なります。

❖ 選んだ項目の設定を変更するには

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

❖ 視聴メニューを終了するには

視聴メニューボタンを押します。

❖ 視聴メニュー項目一覧

項目	効果
タイトル	再生中のタイトル番号 / 総タイトル数を表示します。また、選んだタイトルを再生できます。**(下記)**
チャプター（トラック / ファイル）※	再生中のチャプター（トラック / ファイル）/ 総チャプター数を表示します。また、選んだチャプター（トラック / ファイル）を再生できます。**(下記)**
時間	タイトル / チャプターの経過時間または残り時間を表示します。 時間を指定して再生できます。たとえば、45 分 30 秒から再生したいときは、**数字ボタン**で、0、0、4、5、3、0、を押して、**決定ボタン**を押します。
モード	再生モードを切り換えます **(23 ページ)**。
音声	BD-ROM/DVD ビデオの音声を切り替えます。
アングル	BD-ROM/DVD ビデオのアングルを切り換えます **(19 ページ)**。
字幕	字幕を切り換えます **(20 ページ)**。
字幕タイプ	字幕の文字タイプを切り換えます。
第 2 映像	BD-ROM の第 2 映像 (セカンダリビデオ) を切り換えます **(21 ページ)**。
第 2 音声	BD-ROM の第 2 音声 (セカンダリオーディオ) を切り換えます **(20 ページ)**。
ビットレート	音声 / 映像 / 第 2 映像のレートを表示します。
静止画オフ	BD-ROM の静止画状態を解除します。
インスタントサーチ	自動で 30 秒間早送りすることができます。
インスタントリプレイ	すばやく 10 秒前に戻し、再生します。
スライドショー	画像ファイルのスライドショー再生中に速度を変更できます。
画面切替	画像ファイルのスライドショー再生中に、画像の切り替わり方法を変更できます。

※ ディスクの種類によって、いずれかの情報が表示されます。

お知らせ

- ディスクによって、選択できる機能が異なります。

❖ 指定した箇所から続けて再生する (つづき見再生)

電源をオフにしても、次回再生するときに指定した箇所から続けて再生できます。

指定する

1 再生中につづき見したい箇所でつづき見ボタンを押す

● 画面右上に指定した箇所の再生経過時間が表示されます。

再生する

1 ►(再生) ボタンを押して再生する

[視聴メニュー] の [時間] に指定した時間が自動で表示されます。

● 再生中に**視聴メニューボタン**を押しても、[視聴メニュー] を表示できます。

2 つづき見再生する

決定ボタンを押します。

● 指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ

・**⏏ 開 / 閉ボタン**を押すと、つづき見再生の設定は解除されます。
・正しくつづき見再生できないディスクもあります。

❖ タイトルまたはチャプター / トラック / ファイルを指定して再生する

1 [タイトル] または [チャプター (トラック / ファイル)] を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

2 再生したいタイトルまたはチャプター(トラック / ファイル）を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

● 選んだタイトルまたはチャプター (トラック / ファイル) の再生を始めます。

❖ 順不同に再生する (ランダム / シャッフル再生)

1 [モード] を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

2 再生したいモードの種類を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

● **ランダム再生**
指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラックまたはファイル) で順不同に再生します。同じものが続けて再生されることもあります。

● **シャッフル再生**
指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラックまたはファイル) で順不同に再生します。すべてのものを一回ずつ再生します。

● ディスクやファイルによってできる機能が異なります。下記の表でご確認ください。

モード		ディスク / ファイルの種類			
		DVD ビデオ	DVD-R/-RW (VR フォーマット)	映像 画像 音声 ファイル	音楽 CD
ランダム再生	[ランダム] [全ランダム]	○	○	○	○
	[タイトルランダム]	○	○	×	×
	[チャプターランダム]	○	○	×	×
シャッフル再生	[シャッフル] [全シャッフル]	○	○	○	○
	[タイトルシャッフル]	○	○	×	×
	[チャプターシャッフル]	○	○	×	×
[ノーマル] 通常の再生		○	○	○	○

お知らせ

・BD および AVCREC、AVCHD フォーマットのディスクは、ランダム / シャッフル再生できません ([モード] は選べません)。
・ディスクによってできない機能もあります。

ホームメディアギャラリーから再生する

ディスクに記録されているタイトル / フォルダー / トラック / ファイルを一覧で表示できます (ホームメディアギャラリー)。ホームメディアギャラリーから再生できるディスクは下記のとおりです。**6 ページ**もあわせてご覧ください。

再生可能なディスク

- BD-R/-RE
- DVD-R/-RW(VR フォーマット)
- AVCREC フォーマットで記録されている DVD
- 画像および音声ファイルなどのデータファイルだけが記録されている DVD/CD

お知らせ

・本機で表示できない記号や文字を含んだタイトル名、フォルダー名などは、正しく表示されないことがあります。

BD-R/-RE、DVD-R/-RW(VR フォーマット) を再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

2 ディスクを選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。



3 タイトルを選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- 再生を始めます。

❖ ホームメディアギャラリーを終了するには

ホームメディアギャラリーボタンを押します。

お知らせ

・BD-R/-RE には、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。
・映像や音声が正しく出力されないときは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください (**41 ページ**)。

画像 / 音声 / 映像ファイルを再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

2 ディスクまたは USB を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3 [写真]/[音楽]/[映像] を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。



4 ファイルを選んで再生する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- 選んだファイルから再生を始めます。
- フォルダーの中に再生したいファイルがある場合は、そのフォルダーを選んで**決定ボタン**を押すと、中のファイルが表示されます。
- **⏮(前) ボタン**を押すと、一つ前のファイルを再生します。
- **⏭(次) ボタン**を押すと、一つ先のファイルを再生します。

お知らせ

・再生までに少し時間がかかることがあります。
・この機能から再生できないファイルもあります。
・再生回数が制限されているファイルもあります。

❖ 画像のスライドショー再生について

ディスクまたはフォルダー内の画像ファイルを、自動で切り換えて表示します。

❖ 画像の表示方向について

- スライドショー再生中または静止画再生中に、**▲/▼/◀/▶ ボタン**で画像の表示方向を変更できます。
- **▶(再生) ボタン**を押すとスライドショーに戻ります。

お好みの順に再生する (プレイリスト)

画像 / 音声 / 映像ファイルが記録されたディスクや USB メモリーから、プレイリストにお好みのファイルを追加できます。

❖ ファイルを追加する (プレイリスト作成)

1 「画像 / 音声 / 映像ファイルを再生する」の手順 1 ～ 3 を実行する (左記)

2 追加するファイルを選ぶ

▲/▼ ボタンで選びます。

3 プレイリストメニューを表示する

ポップアップメニューボタンを押します。

4 [プレイリストに追加] を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- さらに追加するときは、手順 1 ～ 4 を繰り返します。

❖ プレイリストを再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

2 プレイリストを選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3 プレイリストを作成した [写真]/[音楽]/[映像] を選ぶ

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

4 ファイルを選んで再生する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- 選んだファイルから再生が始まります。

ホームメニューを使って設定を変更する



設定画面を操作する

1 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 設定の種類を選んで決定する

◀/▶ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。



3 項目を選んで設定を変更する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。







❖ ホームメニュー画面を終了するには

ホームメニューボタンを押します。

基本設定

お知らせ

- 変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- **太字**はお買い上げ時の設定です。

	設定項目	選択項目	説明
システム	スクリーンセーバー	**オン**	再生を停止、または一時停止してから 10 分以上ボタンを操作しないと、自動でスクリーンセーバーが始まります。 ホームメニューまたはホームメディアギャラリーを表示してから 10 分以上ボタンを操作しないと、自動でスクリーンセーバーが始まります。 音楽 CD や音声ファイルでは、再生中でも 10 分以上ボタンを操作しなければ、スクリーンセーバーが始まります。 本体、またはリモコンを操作するとスクリーンセーバーは終わります。
		オフ	スクリーンセーバーを起動しません。
	ディスク自動再生	**オン**	本機の電源が入ると、自動的にディスクトレイにあるディスクを再生するときに選びます。
		オフ	**▶(再生) ボタン**を押してから再生するときに選びます。
	コントロール機能	**オン**	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作するときに選びます。「HDMI によるコントロール機能について」もあわせてご覧ください **(13 ページ)**。
		オフ	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで、本機を操作しないときに選びます。
	セットアップナビ	セットアップナビを使って設定を開始します。詳しくは、「セットアップナビを使って設定する」をご覧ください **(16 ページ)**。	
	初期設定に戻す	すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。 • 設定を変更したいときは、設定をやり直してください。	
	アップデート	ディスクや USB メモリーから更新用ファイルをダウンロードし、本機のソフトウェアをアップデートします **(31 ページ)**。	
	ディスク自動アップデート	**オン**	本機の更新用ファイルが記録されているディスクをセットすると、自動で確認画面が表示されます。
		オフ	本機の更新用ファイルが記録されているディスクをセットしても、確認画面を表示しません。このときにディスクを使って本機のソフトウェアを更新したいときは、[基本設定] → [システム] → [アップデート] を選んで実行してください。
	BUDA	USB メモリー内の BUDA 保存容量を表示します。[BUDA 消去] を選んで**決定ボタン**を押すと、すべてのデータが消去されます。BUDA については「用語解説」をご覧ください **(47 ページ)**。	
言語	画面表示	**日本語**	テレビ画面に表示される操作画面の言語を日本語で表示するときに選びます。
		English	テレビ画面に表示される操作画面の言語を英語で表示するときに選びます。
	ディスクメニュー※1	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を日本語で表示するときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を英語で表示するときに選びます。
		その他	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(33 ページ)** を見ながら操作します。
	音声※1	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオの音声を日本語で聞くときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオの音声を英語で聞くときに選びます。
		その他	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(33 ページ)** を見ながら操作します。
	字幕※1	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を日本語で表示するときに選びます。
		English	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を英語で表示するときに選びます。
		その他	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(33 ページ)** を見ながら操作します。
再生	アングルマーク※2	**オン**	テレビ画面にアングルマークを表示するときに選びます **(19、22 ページ)**。
		オフ	テレビ画面にアングルマークを表示しないときに選びます。
	第 2 映像マーク※2	**オン**	テレビ画面に第 2 映像マークを表示するときに選びます **(21、22 ページ)**。
		オフ	テレビ画面に第 2 映像マークを表示しないときに選びます。
	第 2 音声マーク※2	**オン**	テレビ画面に第 2 音声マークを表示するときに選びます **(20、22 ページ)**。
		オフ	テレビ画面に第 2 音声マークを表示しないときに選びます。
	ラストメモリー※2	**オン**	ディスクトレイを開けたあとや本機をスタンバイ状態にしたあとでも、停止した場所を記憶して、続きから再生したいときに選びます。
		オフ	つづき見再生 **(23 ページ)** のみを使用したいときに選びます。

	設定項目	選択項目	説明
再生	PBC（プレイバックコントロール）メニュー	**オン**	PBC 対応のビデオ CD（バージョン 2.0）のメニュー画面からディスクを再生するときに選びます。
		オフ	PBC 対応のビデオ CD（バージョン 2.0）のメニュー画面を表示しないときに選びます。
	DivX VOD DRM	DivX ファイルを再生するときに必要な登録コードを表示します。	
パレンタル	パスワード変更	視聴制限を設定する、または視聴が制限されている BD/DVD を再生するために必要なパスワードを変更 (登録) します。詳しくは、「パスワードを変更する」をご覧ください **(27 ページ)**。	
	視聴制限	本機の視聴制限レベルを変更します。詳しくは「ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する」をご覧ください **(28 ページ)。**	
	国 / 地域	国 / 地域コードを変更します。国 / 地域コードについては「国 / 地域コード表」をご覧ください **(33 ページ)**。	
ネットワーク	インターネット接続	**許可**	インターネットに接続するときに選びます。
		解除	インターネットに接続しないときに選びます。
	情報	インターフェイス、アドレスタイプ、IP アドレス、サブネットマーク、デフォルトゲートウェイ、DNS などのネットワーク情報を表示します。	
	接続テスト	ネットワーク接続をテストし、状態を表示します。	
	IP アドレス設定	**自動**	本機や DNS サーバーの IP アドレス設定を自動でするときに選びます。
		手動	本機や DNS サーバーの IP アドレス設定を手動でするときに選びます。 詳しくは「IP アドレスを設定する」**(28 ページ)** をご覧ください。
	BD-LIVE 接続※3	**許可**	すべてのディスクの BD-LIVE 接続を許可します。
		一部許可	安全性が確認できたディスクのみ、BD-LIVE 接続を許可します。
		禁止	すべてのディスクの BD-LIVE 接続を禁止します。

※1 ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。
※2 機能に対応していないディスクでは使用できません。
※3 BD-LIVE 機能を使用するには、USB メモリーを本機に接続する必要があります。**(15 ページ)**

❖ パスワードを変更する

視聴制限を設定するとき、または視聴制限のあるディスクを再生するときに必要なパスワードを変更 (登録) します。

1 [パレンタル] → [パスワード変更] を選んで決定する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 パスワードを入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
◀/▶ **ボタン**でカーソルを移動します。



3 新しいパスワードを入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
◀/▶ **ボタン**でカーソルを移動します。



4 新しいパスワードを再入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
◀/▶ **ボタン**でカーソルを移動します。

- パスワードを変更するときは、すでに登録しているパスワードを入力してから新しいパスワードを入力します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定では「0000」になっています。
- パスワードはメモしておくことをお勧めします。
- パスワードを忘れてしまったときは、本機の設定をお買い上げ時の設定に戻してから再度パスワードを登録してください **(27 ページ)**。

❖ ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する

暴力シーンなどを含む BD/DVD には、視聴制限のレベルを設けたディスクがあります (ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクよりも小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限できます。

1 [パレンタル] → [視聴制限] を選んで決定する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 パスワードを入力する

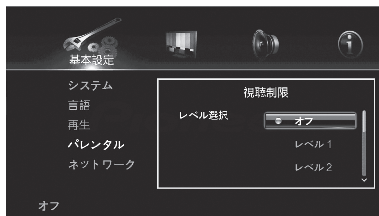
数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。

◀/▶ **ボタン**でカーソルを移動します。

3 レベルを選ぶ

▲/▼ **ボタン**で変更して、**決定ボタン**を押します。

視聴制限レベルは [レベル 1] から [レベル 8] まで設定できます。



- 視聴制限レベルのあるディスクを再生するときは、パスワードの入力が必要になります。
- 視聴制限レベルは、それぞれの国 / 地域により異なります。視聴制限に関係なくディスクを再生したい場合は、設定を [オフ] にしてください。

❖ IP アドレスを設定する

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

1 [ネットワーク] → [IP アドレス設定] を選んで決定する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 IP アドレスを設定する

▲/▼/◀/▶ **ボタン**で本機や DNS サーバーの IP アドレスを設定して、**決定ボタン**を押します。

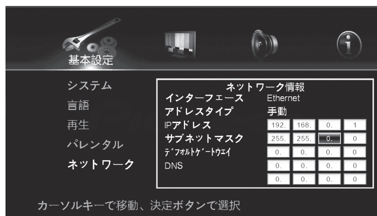
- **IP アドレスを自動取得できるとき**

  [自動] を選んで、**決定ボタン**を押します。

  ー IP アドレスが自動的に取得されます。

- **IP アドレスを自動取得できないとき**

  [手動] を選んで、**決定ボタン**を押します。



  [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNS] をそれぞれ、**数字ボタン (0 ～ 9)** で番号を入力して、▶ を押します。

  入力が全て終わったら、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- IP アドレスを設定したら、[接続テスト] を選び、接続が正しくされているか確認してください。
- DHCP サーバー機能について詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 手動で IP アドレスを設定するときは、プロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してから設定してください。

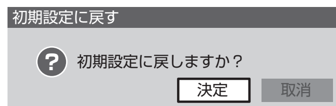
❖ すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

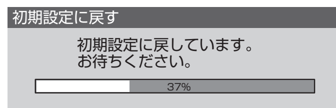
1 [システム] → [初期設定に戻す] を選んで決定する

▲/▼ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 [決定] を選んで決定する

◀/▶ **ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押します。





設定の初期化が完了すると、セットアップナビ画面が表示されます。**(16 ページ)**

表示設定

お知らせ

- 変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- **太字**はお買い上げ時の設定です。

	設定項目	選択項目	説明
接続テレビ設定	テレビの縦横比	**16:9 ワイド**	ワイド (16:9) テレビと接続しているときに選びます。
		16:9 ノーマル	16:9 の映像の左右をカットして全画面に表示します。4:3 の画面全体に映像を映して見るときに選びます。ディスクによっては、[16:9（ノーマル）] に設定しても 4:3（レターボックス）で表示します。
		4:3 パンスキャン	従来サイズ (4:3) のテレビと接続しているときに選びます。
		4:3 レターボックス	4:3 の画面で見るときに 16:9 の映像の上下に黒い帯を入れて表示します。
	解像度	**自動**	画面の解像度を自動で設定するときに選びます。
		480i	選んだ設定の解像度で映像を出力します。 リモコンの **HDMI ボタン**でも解像度を切り換えられます。ただし、[自動] の設定はできません。
		480p	
		720p	
		1080i	
		1080p	
	カラースペース	RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が薄く黒色が浮いて見えるときには、こちらを選んでください。
		YCbCr	映像を色差信号（YCbCr4:4:4）で出力するときに選びます。
		YCbCr422	映像を色差信号（YCbCr4:2:2）で出力するときに選びます。
		フル RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が濃く黒色が沈んで見えるときには、こちらを選んでください。
	HDMI Deep Color	30 ビット	30 ビットカラーで出力する場合に選びます。
		36 ビット	36 ビットカラーで出力する場合に選びます。
		オフ	通常の 24 ビットカラーで出力する場合に選びます。
	HDMI 1080 P　24 Hz	**オン**	解像度で [自動] または [1080p] を選択している状態で、1080p/24 の映像に対応したテレビに 1080p/24 の映像を出力するときに選びます。
		オフ	解像度で [1080p] を選択している状態で、1080p/60 の映像に対応したテレビに 1080p/60 の映像を出力するときに選びます。
映像設定	画質調整	明るさ	明るさを設定するときに選びます。
		コントラスト	色の濃さを調整するときに選びます。
		色合い	緑色と赤色のバランスを調整するときに選びます。
		彩度	色の彩度を調整するときに選びます。
	シャープネス	高	シャープネスのレベルを設定します。
		中	
		低	
動画設定	ディテール	**標準**	通常はこの設定にしてください。
		ファイン	画像をくっきりさせたいときに選びます。
		ソフト	画像をなめらかにさせたいときに選びます。

音声設定

お知らせ

- 変更できない項目は灰色で表示されます。また、本機の状態によって選べる項目が異なります。
- **太字**はお買い上げ時の設定です。

	設定項目	選択項目	説明
音声出力	デジタル音声出力	ビットストリーム	デジタル音声信号をそのまま出力するときに選びます。
		PCM	デジタル音声信号を 2 チャンネルの音声信号に換えて出力するときに選びます。
		再エンコード	音声信号の種類を自動で選ぶときに選びます。
		オフ	デジタル音声信号を使用しないときに選びます。
	HDMI 音声出力	ビットストリーム	HDMI 音声信号をそのまま出力するときに選びます。
		PCM	HDMI 音声信号を PCM 音声信号に換えて出力するときに選びます。
		再エンコード	音声信号の種類を自動で選ぶときに選びます。
		オフ	HDMI 音声信号を使用しないときに選びます。
	ダウンサンプリング	**48K**	48 kHz で録音されたディスクを再生するときに選びます。
		96K	96 kHz で録音されたディスクを再生するときに選びます。
		192K	192 kHz で録音されたディスクを再生するときに選びます。
	DRC（ダイナミックレンジコントロール）※	オフ	DRC 機能を使わずに音声を出力するときに選びます。
		オン	大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るときなどに選びます。
		自動	ディスクの音声入力に合わせて、DRC 機能のオンとオフを自動で設定するときに選びます。

※ ・DRC は下記の**音声出力端子**から出力される音声に効果があります。
　— **音声出力端子**から出力されるアナログ音声
　— **デジタル音声出力端子**または **HDMI 出力端子**から出力されるリニア PCM 音声
・ドルビーデジタル音声およびアナログ音声にだけ効果があります。
・ディスクによっては効果が小さいことがあります。
・スピーカーや AV アンプの設定によって、効果が異なることがあります。

❖ デジタルオーディオフォーマットの出力について

設定	変換方法	出力端子	音声の種類 PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TrueHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
ビットストリーム	第1音声(映画などのメインの音声)だけを出力します。第2音声、インタラクティブオーディオは出力できません。	HDMI出力端子	PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TrueHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
		デジタル音声出力端子	PCM 2ch	Dolby Digital	Dolby Digital	Dolby Digital	DTS	DTS-ES 5.1ch	DTS 5.1ch
PCM	第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換して、同時に出力します。	HDMI出力端子	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch
		デジタル音声出力端子	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM	PCM 2ch	PCM 2ch
再エンコード	第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換してから、DTS音声に再変換して同時に出力します。	HDMI出力端子/デジタル音声出力端子	DTS	DTS	DTS	DTS	DTS	DTS 5.1ch	DTS 5.1ch

お知らせ

- ディスクによっては、チャンネル数が異なることがあります。
- BD ビデオには 3 つの音声が記録されています。
  — 第 1 音声：メインになる音声です。
  — 第 2 音声：映画の監督や俳優のコメントなど、付録で追加された音声です。
  — インタラクティブオーディオ：操作したときのクリック音などの音声です。インタラクティブオーディオはディスクによって異なります。

システム情報画面を見る

1 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 [システム情報] を選ぶ

◀/▶ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- 本機のソフトウェアのバージョンなどの情報が表示されます。

システム情報画面を終了するには

ホームメニューボタンを押します。

本機のソフトウェアを更新する (アップデート)

本機は下記の方法でソフトウェアを更新できます。

- ディスクを使用した更新
- USB メモリーを使用した更新

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/

ご注意

- ソフトウェアの更新中に USB メモリーを抜いたり電源コードを抜かないでください。
- ソフトウェアの更新中に他の操作はできません。また、更新中は中止できません。

お知らせ

- 更新用ファイルが弊社ホームページで公開されているときは、お手持ちのパソコンでディスクまたは USB メモリーにダウンロードしてください。**更新用ファイルのダウンロードについては、弊社ホームページに記載された説明をよく読んでください。**
- 更新用ファイルはディスクまたは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。フォルダーの中には保存しないでください。
- ディスクまたは USB メモリーには、更新用ファイル以外のファイルは入れないでください。
- ディスクまたは USB メモリーに保存する更新用ファイルは、最新のもの一つだけにしてください。
- ディスクを使用した更新には、CD-R または CD-RW を使用してください。
- 本機は FAT32/16 でフォーマットした USB メモリーに対応しています。お手持ちのパソコンで USB メモリーをフォーマットするときは、下記の設定でフォーマットしてください。
  - ファイルシステム : FAT32
  - アロケーションユニットサイズ : 標準のアロケーションサイズ
- USB メモリーを本機に接続するときは、USB 延長ケーブルを使用しないでください。USB 延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。

1 更新用ファイルの記録されたディスクをセットする、または USB メモリーを接続する

- USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- [ディスク自動アップデート] **(26 ページ)** を [オン] に設定しているときにディスクをセットすると、自動で更新用ファイルのチェックが始まります。手順 7 に進みます。

2 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

3 [基本設定] を選んで決定する

◀/▶ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

4 [システム] を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

5 [アップデート] を選んで決定する

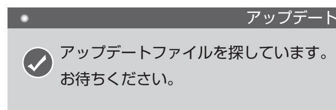
▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

6 [ディスク] または [USB] を選んで決定する

▲/▼ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。



更新用ファイルのチェック中に下記の画面が表示されます。

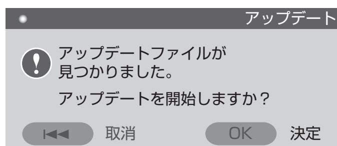


- ディスクを使用した更新では、更新用ファイルのチェックに数分かかることがあります。

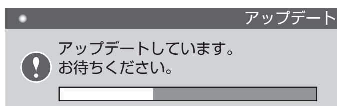
7 更新を開始する

決定ボタンを押します。

- 更新しないときは **⏮(前)ボタン**を押して取り消します。



ソフトウェアの更新が始まり、下記の画面が表示されます。



- 更新が終了すると、本機が自動で再起動します。

ご注意

- **ディスクで更新したときは自動でディスクトレイが開きますが、すぐに再起動し、ディスクトレイが閉じます。けがや故障の原因になりますので、手順 8 のあとにディスクを取り出してください。**

8 初期設定をする

再起動したあとに、[セットアップナビ] が表示されます。再度設定をしてください **(16 ページ)**。

9 ソフトウェアのバージョンを確認する

「システム情報画面を見る」**(31 ページ)** の手順で、ソフトウェアが正しく更新されたことを確認してください。

言語コード表 、国 / 地域コード表

言語コード表

言語名 , **言語コード , 入力コード**

Abkhazian, **ab/abk, 0102**
Afar, **aa/aar, 0101**
Afrikaans, **af/afr, 0106**
Albanian, **sq/sqi, 1917**
Amharic, **am/amh, 0113**
Arabic, **ar/ara, 0118**
Armenian, **hy/hye, 0825**
Assamese, **as/asm, 0119**
Aymara, **ay/aym, 0125**
Azerbaijani, **az/aze, 0126**
Bashkir, **ba/bak, 0201**
Basque, **eu/eus, 0521**
Belarusian, **be/bel, 0205**
Bengali, **bn/ben, 0214**
Bihari, **bh/bih, 0208**
Bislama, **bi/bis, 0209**
Breton, **br/bre, 0218**
Bulgarian, **bg/bul, 0207**
Burmese, **my/mya, 1325**
Catalan, **ca/cat, 0301**
Central Khmer, **km/khm, 1113**
Chinese, **zh/zho, 2608**
Corsican, **co/cos, 0315**
Croatian, **hr/hrv, 0818**
Czech, **cs/ces, 0319**
Danish, **da/dan, 0401**
Dutch, **nl/nld, 1412**
Dzongkha, **dz/dzo, 0426**
English, **en/eng, 0514**
Esperanto, **eo/epo, 0515**
Estonian, **et/est, 0520**
Finnish, **fi/fin, 0609**
Fijian, **fj/fij, 0610**
Faroese, **fo/fao, 0615**
French, **fr/fra, 0618**
Galician, **gl/glg, 0712**
Georgian, **ka/kat, 1101**
German, **de/deu, 0405**
Greek, **el/ell, 0512**
Guarani, **gn/grn, 0714**
Gujarati, **gu/guj, 0721**
Hausa, **ha/hau, 0801**
Hebrew, **iw/heb, 0923**
Hindi, **hi/hin, 0809**
Hungarian, **hu/hun, 0821**
Icelandic, **is/isl, 0919**
Indonesian, **in/ind, 0914**
Interlingua, **ia/ina, 0901**
Interlingue, **ie/ile, 0905**
Inupiaq, **ik/ipk, 0911**
Irish, **ga/gle, 0701**
Italian, **it/ita, 0920**
Japanese, **ja/jpn, 1001**
Javanese, **jw/jav, 1023**
Kalaallisut, **kl/kal, 1112**
Kannada, **kn/kan, 1114**
Kashmiri, **ks/kas, 1119**
Kazakh, **kk/kaz, 1111**
Kinyarwanda, **rw/kin, 1823**
Kirghiz, **ky/kir, 1125**
Korean, **ko/kor, 1115**
Kurdish, **ku/kur, 1121**
Lao, **lo/lao, 1215**
Latin, **la/lat, 1201**
Latvian, **lv/lav, 1222**
Lingala, **ln/lin, 1214**
Lithuanian, **lt/lit, 1220**
Macedonian, **mk/mkd, 1311**
Malagasy, **mg/mlg, 1307**
Malay, **ms/msa, 1319**
Malayalam, **ml/mal, 1312**
Maltese, **mt/mlt, 1320**
Maori, **mi/mri, 1309**
Marathi, **mr/mar, 1318**
Mongolian, **mn/mon, 1314**
Moldavian, **mo/mol, 1315**
Nauru, **na/nau, 1401**
Nepali, **ne/nep, 1405**
Norwegian, **no/nor, 1415**
Occitan, **oc/oci, 1503**
Oriya, **or/ori, 1518**
Oromo, **om/orm, 1513**
Panjabi, **pa/pan, 1601**
Persian, **fa/fas, 0601**
Polish, **pl/pol, 1612**
Portuguese, **pt/por, 1620**
Pushto, **ps/pus, 1619**
Quechua, **qu/que, 1721**
Rundi, **rn/run, 1814**
Russian, **ru/rus, 1821**
Romanian, **ro/ron, 1815**
Romansch, **rm/roh, 1813**
Samoan, **sm/smo, 1913**
Sango, **sg/sag, 1907**
Sanskrit, **sa/san, 1901**
Scottish-Gaelic, **gd/gla, 0704**
Serbian, **sr/srp, 1918**
Serbo-Croatian, **sh/---, 1908**
Shona, **sn/sna, 1914**
Sindhi, **sd/snd, 1904**
Sinhalese, **si/sin, 1909**
Slovak, **sk/slk, 1911**
Slovenian, **sl/slv, 1912**
Somali, **so/som, 1915**
Sotho, Southern, **st/sot, 1920**
Spanish, **es/spa, 0519**
Sundanese, **su/sun, 1921**
Swahili, **sw/swa, 1923**
Swati, **ss/ssw, 1919**
Swedish, **sv/swe, 1922**
Tagalog, **tl/tgl, 2012**
Tajik, **tg/tgk, 2007**
Tamil, **ta/tam, 2001**
Tatar, **tt/tat, 2020**
Telugu, **te/tel, 2005**
Thai, **th/tha, 2008**
Tibetan, **bo/bod, 0215**
Tigrinya, **ti/tir, 2009**
Tonga (Tonga Islands), **to/ton, 2015**
Tsonga, **ts/tso, 2019**
Tswana, **tn/tsn, 2014**
Turkmen, **tk/tuk, 2011**
Turkish, **tr/tur, 2018**
Twi, **tw/twi, 2023**
Ukrainian, **uk/ukr, 2111**
Urdu, **ur/urd, 2118**
Uzbek, **uz/uzb, 2126**
Vietnamese, **vi/vie, 2209**
Volapük, **vo/vol, 2215**
Welsh, **cy/cym, 0325**
Western Frisian, **fy/fry, 0625**
Wolof, **wo/wol, 2315**
Xhosa, **xh/xho, 2408**
Yiddish, **ji/yid, 1009**
Yoruba, **yo/yor, 2515**
Zulu, **zu/zul, 2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , **国 / 地域コード , 入力コード**

アイスランド , **is, 0919**
アイルランド , **ie, 0905**
アゼルバイジャン , **az, 0126**
アメリカ , **us, 2119**
アルゼンチン , **ar, 0118**
アルメニア , **am, 0113**
アンギラ , **ai, 0109**
アンティグア・バーブーダ , **ag, 0107**
イギリス , **gb, 0702**
イギリス領バージン諸島 , **vg, 2207**
イスラエル , **il, 0912**
イタリア , **it, 0920**
インド , **in, 0914**
インドネシア , **id, 0904**
ウクライナ , **ua, 2101**
ウズベキスタン , **uz, 2126**
ウルグアイ , **uy, 2125**
エストニア , **ee, 0505**
オーストラリア , **au, 0121**
オーストリア , **at, 0120**
オランダ , **nl, 1412**
ガイアナ , **gy, 0725**
カザフスタン , **kz, 1126**
カナダ , **ca, 0301**
韓国 , **kr, 1118**
キプロス , **cy, 0325**
ギリシャ , **gr, 0718**
キルギス , **kg, 1107**
グリーンランド , **gl, 0712**
グルジア , **ge, 0705**
グレナダ , **gd, 0704**
クロアチア , **hr, 0818**
ケイマン諸島 , **ky, 1125**
コロンビア , **co, 0315**
サンマリノ , **sm, 1913**
ジャマイカ , **jm, 1013**
シンガポール , **sg, 1907**
スイス , **ch, 0308**
スウェーデン , **se, 1905**
スペイン , **es, 0519**
スリナム , **sr, 1918**
スロバキア , **sk, 1911**
スロベニア , **si, 1909**
セントクリストファー・ネビス , **kn, 1114**
セントビンセント・グレナディーン , **vc, 2203**
セントルシア , **lc, 1203**
タークス・カイコス諸島 , **tc, 2003**
タイ , **th, 2008**
台湾 , **tw, 2023**
タジキスタン , **tj, 2010**
チェコ , **cz, 0326**
中国 , **cn, 0314**
チュニジア , **tn, 2014**
チリ , **cl, 0312**
デンマーク , **dk, 0411**
ドイツ , **de, 0405**
ドミニカ , **dm, 0413**
ドミニカ共和国 , **do, 0415**
トリニダード・トバゴ , **tt, 2020**
トルクメニスタン , **tm, 2013**
トルコ , **tr, 2018**
日本 , **jp, 1016**
ニュージーランド , **nz, 1426**
ノルウェー , **no, 1415**
ハイチ , **ht, 0820**
パキスタン , **pk, 1611**
バハマ , **bs, 0219**
バミューダ諸島 , **bm, 0213**
バルバドス , **bb, 0202**
ハンガリー , **hu, 0821**
フィリピン , **ph, 1608**
フィンランド , **fi, 0609**
プエルトリコ , **pr, 1618**
ブラジル , **br, 0218**
フランス , **fr, 0618**
ブルガリア , **bg, 0207**
ベネズエラ , **ve, 2205**
ベラルーシ , **by, 0225**
ベリーズ , **bz, 0226**
ペルー , **pe, 1605**
ベルギー , **be, 0205**
ポーランド , **pl, 1612**
ポルトガル , **pt, 1620**
香港 , **hk, 0811**
マケドニア , **mk, 1311**
マルタ , **mt, 1320**
マレーシア , **my, 1325**
メキシコ , **mx, 1324**
モナコ , **mc, 1303**
モルドバ , **md, 1304**
モントセラト , **ms, 1319**
ラトビア , **lv, 1222**
リトアニア , **lt, 1220**
リヒテンシュタイン , **li, 1209**
ルーマニア , **ro, 1815**
ルクセンブルク , **lu, 1221**
ロシア , **ru, 1821**

ソフトウェアのライセンスに関するお知らせ

ここでは、本機に使われているソフトウェアの利用許諾 (ライセンス) について記載しています。
正確な内容を保持するため、原文 (英語) を記載しています。

❖ curl に関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1996 - 2007, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>. All rights reserved.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOF TWARE IS PROVIDED "AS IS", WI THOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

❖ expat に関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

❖ freetype に関するお知らせ

This software is based in part on freetype see http://www.freetype.org for information.

❖ International Components for Unicode に関するお知らせ

ICU License - ICU 1.8.1 and later
COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE
Copyright (c) 1995-2010 International Business Machines Corporation and others
All rights reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

❖ jpeg に関するお知らせ

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

❖ openssl に関するお知らせ

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must

display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

❖ zlib に関するお知らせ

This software is based in part on zlib see http://www.zlib.net for information.

❖ GNU General Public License（以下「GPL」とします）および GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）に関するお知らせ

本製品は、GNU GPL Version 2 および GNU LGPL Version 2.1 の条件にもとづいて利用が許諾された以下のソフトウェアを含んでいます。

- linux kernel 2.6. Copyright (C) 1991 Linus Torvalds. Licensed under GPLv2.0
- BusyBox v1.17.1 multi-call binary. Copyright (C) 1998-2009 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. Licensed under GPLv2.0
- SquashFS Copyright: (C) 2002-2009 Phillip Lougher Licensed under GPL v2.0
- Das U-Boot Copyright: (C) 2000-2005 Wolfgang Denk, DENX Software Engineering, wd@denx.de. Licensed under GPL v2.0
- LIRC 0.8.5 Copyright (C) 1996 Ralph Metzler <rjkm@thp.uni-koeln.de> Copyright (C) 1998-2008 Christoph Bartelmus <lirc@bartelmus.de> Licensed under GPL v2.0
- glibc 2.9 Copyright (C) 1992-2006, 2007 Free Software Foundation, Inc. Licensed under LGPL v2.1.

該当するソースコードの複製物は以下の URL からダウンロードできます。
http://www.oss-pioneer.com/homeav/blu-ray
なお、ソースコードの内容についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、GNU GPL Version 2 および GNU LGPL Version 2.1 の詳細については GNU のウェブサイトをご覧ください (www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html、www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html)。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too. When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it. For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software. Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this Licensealong with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, andyou may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program. In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to

distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6 Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms. To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLICLICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially

designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it. For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables. The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
      (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.) Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

    If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

    It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

    This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted incertain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

    Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING ENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can

redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

使用上のご注意

本機を移動する場合のご注意

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**（またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**）を押して、表示窓の [OFF] 表示が消えて 10 秒以上待ってから、電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビや AV システムの近くの安定した場所を選んでください。

テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

❖ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

❖ 通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

❖ 熱を受けないようにする

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

⚠ 注意

◆ 本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 本機の使用環境温度範囲は +5 ℃～ +35 ℃、使用環境湿度は 85 % 以下（通風孔が妨げられていないこと）です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源をオンにしたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。

化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲ **開 / 閉ボタン**を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」**(49 ページ)** をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの取り扱いについて

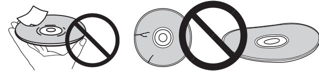
損傷のあるディスク (ひびやそりのあるディスク) は使用しないでください。

ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。

ディスクを一度に 2 枚以上入れないでください。

ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

ディスクのレーベル面の記入には、鉛筆やボールペンなどの筆先の硬いものを使用しないでください。



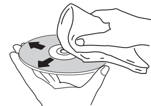
❖ 保管

必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。

ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

❖ ディスクのお手入れ

ディスクに指紋やホコリが付くと、再生できなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

❖ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク (ハート型や六角形等) は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



❖ ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると正常に再生できないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器 (テレビなど) もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは『保証とアフターサービス』**(49 ページ)** をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

再生しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• ディスクが再生できない。 • ディスクトレイが自動で開く。	本機で再生できるディスクですか。	• 本機で再生できるディスクか確認してください **(6 ページ)**。 • ファイナライズされていないディスクは再生できません。
	本機で再生できるファイルですか。	• 本機で再生できるファイルか確認してください **(9 ページ)**。 • ファイルが壊れていないか確認してください。
	ディスクに傷がついていませんか。	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください **(40 ページ)**。
	ディスクに紙やシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。
	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていますか。	• 印刷面を上にセットしてください。 • ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機が再生できるディスクのリージョンナンバーを確認してください **(8 ページ)**。
		• 本機内部の結露を除去してください **(40 ページ)**。 • ディスクの記録状態やピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、正しく再生できないことがあります。 • 録画時間が短いと、正しく再生できないことがあります。 • BDMV/BDAV 以外のフォーマットで記録された BD-RE/-R は再生できません。
USB メモリーのファイルが再生できない。	ディスクがセットされていませんか。	下記のディスクがセットされているときは、USB メモリーのファイルは再生できません。ディスクを取り出してください。 ーBDMV または BDAV フォーマットの BD ーVR、ビデオ、または AVCHD フォーマットの DVD ー音楽 CD
映像が映らない。または映像がきれいに映らない。	映像ケーブルが正しく接続されていますか。	• 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください **(12 ページ)**。 • ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
	映像ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください **(40 ページ)**。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機が再生できるディスクのリージョンナンバーを確認してください **(8 ページ)**。
	接続しているテレビまたは AV アンプの入力は正しいですか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
	解像度は正しく設定されていますか。	**HDMI ボタン**で映像と音声が出力される解像度に切り換えてください **(29 ページ)**。
	• ハイスピード HDMI ケーブル以外の HDMI ケーブル (スタンダード HDMI ケーブル) で接続していませんか。 • イコライザーを内蔵している HDMI ケーブルで接続していませんか。	お使いの HDMI ケーブルや本機の設定によっては、1080p 映像や Deep Color が正しく出力されないことがあります。ホームメニューの [基本設定] から [初期設定に戻す] を選び、映像出力をお買い上げ時の設定に戻してください **(26 ページ)**。そのあと 1080p や Deep Color で出力したいときは、イコライザーを内蔵していないハイスピード HDMI ケーブルを使って TV と接続して、[セットアップナビ] で本機を再設定してください **(16 ページ)**。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器を接続すると映像が正しく映らないことがあります。
	[カラースペース] が正しく設定されていますか。	[カラースペース] の設定を変更してください **(29 ページ)**。
		コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声が正しく出力されない場合があります。これは故障ではありません。
再生が止まる。		• 本機に衝撃を与えたり、不安定な場所に置いたりしたときは、再生が止まることがあります。 • 再生中に USB メモリーの接続 / 取り外しをすると、再生が停止することがあります。再生中に USB メモリーの接続 / 取り外しはしないでください。
テレビ画面が止まって操作できない。		• **■(停止) ボタン**を押して再生を停止してから再度再生してください。 • 停止できないときは、本体前面部の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押して電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 • 傷がついているディスクは再生できないことがあります。
BD を再生しても映像が映らない、またはハイビジョンで出力されない。		ディスクによっては、**映像端子**から映像を出力できないことがあります。このときは HDMI ケーブルを使って接続してください **(12 ページ)**。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• 再生中に映像が乱れる。 • 映像が暗い。		• 本機はロヴィコーポレーションのアナログコピー保護技術に対応しています。テレビ (ビデオデッキを内蔵したものなど) によっては、コピー保護されたディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 • DVD レコーダーやビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、アナログコピー保護によって映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。
• 映像が伸びている。 • 映像が切れている。 • 縦横比が切り換えられない。	テレビの縦横比は正しく設定されていますか。	テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。
	本機の [テレビの縦横比] は正しく設定されていますか。	本機の [テレビの縦横比] を正しく設定してください **(29 ページ)**。
		HDMI 出力端子から 1080/24p、1080/60i、1080/60p、または 720/60p の解像度で映像を出力しているときは、[テレビの縦横比] が [4:3] に設定されていても 16:9 で出力されることがあります **(29 ページ)**。
映像がとぎれる。		記録されている映像の解像度が切り換わるときに映像がとぎれることがあります。[解像度] を [自動] 以外に設定してください **(29 ページ)**。
画面に四角のノイズ (モザイク) が出る。		デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの早い場面などでブロック上の画像が目立つことがあります。
字幕が切り換えられない。		レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。
• 音声が出ない。 • 音声が正しく出力されない。	音量が最小になっていませんか。	テレビまたは AV アンプの音量が最小になっているときは、音量を上げてください。
	スロー再生、早送り / 早戻ししていませんか。	スロー再生中、早送り / 早戻し中は音声が出力されません。
	音声ケーブルが正しく接続されていますか。	• 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください **(12 ページ)**。 • ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
	音声ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください **(40 ページ)**。
	接続している機器 (AV アンプなど) は正しく設定されていますか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、音量、入力、およびスピーカーの設定などを確認してください。
	映像端子の映像を見ながら、**HDMI 出力端子**の音声を聞こうとしていませんか。	**映像端子**から映像を出力しているときは、**HDMI 出力端子**から音声は出力されません。**映像端子**の映像を見るときは、光デジタル音声ケーブルまたはオーディオケーブルを接続して音声を聞いてください **(14 ページ)**。接続が終わったら、セットアップナビで本機の設定をしてください **(16 ページ)**。
	[HDMI 音声出力] を正しく設定していますか。	[HDMI 音声出力] の設定を [再エンコード] または [PCM] に設定してください。
	解像度は正しく設定されていますか。	**HDMI ボタン**で映像と音声が出力される解像度に切り換えてください **(29 ページ)**。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器に接続しているときは、**HDMI 出力端子**から音声が出ません。**デジタル音声出力端子**または**音声出力端子**に接続してください **(14 ページ)**。
		• BD によっては**デジタル音声出力端子**、または **HDMI 出力端子**からだけ音声を出力します。 • オーディオ信号以外の音声または規格外の音声が記録されているディスクでは、音声が出力されないことがあります。 • コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声が正しく出力されない場合があります。これは故障ではありません。
音が左右逆になる／片方しか音が出ない。	音声ケーブルが正しく接続されていますか。	音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていないか確認してください **(14 ページ)**。
マルチチャンネル音声が出力されない。	接続している AV アンプなどの音声出力は正しく設定されていますか。	接続している AV アンプの取扱説明書をご覧になり、AV アンプの音声出力の設定を確認してください。
	マルチチャンネル音声を選んでいますか。	メニュー画面または**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネル音声に切り換えてください。
デジタル音声出力端子から DTS Digital Surround を出力すると雑音が聞こえる。	接続している AV アンプは DTS Digital Surround に対応していますか。	**デジタル音声出力端子**に DTS Digital Surround に対応していない AV アンプを接続しているときは、[デジタル音声出力] を [PCM] に設定してください **(30 ページ)**。
デジタル音声出力端子から 192 kHz または 96 kHz のデジタル音声が出力できない。		本機の**デジタル音声出力端子**からは 192 kHz または 96 kHz のデジタル音声が出力できません。自動で 48 kHz 以下に変換して出力されます。
第 2 音声 (セカンダリオーディオ) またはインタラクティブオーディオが出力されない。	[HDMI 音声出力] は正しく設定されていますか。	**HDMI 出力端子**の音声を聞いているときは、[HDMI 音声出力] を [再エンコード] または [PCM] に設定してください **(30 ページ)**。
	[デジタル音声出力] は正しく設定されていますか。	**デジタル音声出力端子**の音声を聞いているときは、[デジタル音声出力] を [再エンコード] または [PCM] に設定してください **(30 ページ)**。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ディスクをセットしたあと、「読込中」と表示されたまま再生が始まらない。	ディスクに記録されているファイル数が多すぎませんか。	ファイルが記録されているディスクをセットしたとき、記録されているファイル数によっては読み込みに数分から数十分かかることがあります。
ファイル名などに「■」が表示される。		本機で表示できない文字は■で表示されます。
BD-ROM を再生しているときに記憶領域 (ローカルストレージ) 不足のメッセージが表示された。		• USB メモリーを接続してください。 • [BUDA] でデータを消去してください **(26 ページ)**。

コントロール機能

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
コントロール機能が働かない。	HDMI ケーブルが正しく接続されていますか。	コントロール機能を使うときは、フラットテレビや AV アンプを **HDMI 出力端子**に接続してください **(12 ページ)**。
	お使いの HDMI ケーブルはハイスピード HDMI ケーブルですか。	ハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。それ以外の HDMI ケーブルでは HDMI によるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
	HDMI ケーブルでテレビを接続して映像を見ていますか。	**HDMI 出力端子**以外から映像を出力しているときは、HDMI によるコントロール機能は働きません。テレビを HDMI ケーブルで接続してください。
	本機の [コントロール機能] が [オン] に設定されていますか。	本機の [コントロール機能] を [オン] に設定してください **(26 ページ)**。
	接続している機器がコントロール機能に対応していますか。	• コントロール機能と互換性のない機器と HDMI ケーブルを使って接続してもコントロール機能は働きません。 • コントロール機能に対応している機器と本機の間に、コントロール機能に対応していない機器または他社の機器が接続されているときは働きません。 • コントロール機能に対応している機器と接続しても、機能によっては働かないことがあります。 接続している機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
	接続している機器のコントロール機能がオンに設定されていますか。	接続している機器の [コントロール機能] を [オン] に設定してください。コントロール機能は、**HDMI 出力端子**に接続されているすべての機器のコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。 接続および各機器の設定が完了したら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、コントロール機能が正常に動作しないことがあります。 詳しくは、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。
	複数のプレーヤーを接続していませんか。	本機を含めて 3 台以上のプレーヤーが HDMI ケーブルで接続されていると、働かないことがあります。
		• 他社の機器と HDMI ケーブルを使って接続してもコントロール機能は働きません。 • 接続しているフラットテレビによっては働かないことがあります。

ネットワーク

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ネットワークに接続できない。		• LAN ケーブルを奥までしっかりと差し込んでください **(15 ページ)**。 • モジュラーケーブルでは接続しないでください。 **LAN(10/100) 端子**には LAN ケーブルを使用してください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムの電源がオンになっているか確認してください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムが正しく接続されているか確認してください。 • ネットワークの設定を確認してください。
• BD-LIVE 機能 (BD のインターネット接続) が使えない。		• ネットワークの接続と設定を確認してください。 • USB メモリーを接続してください。 • USB メモリーのデータを消去してください。 • BD-LIVE 機能対応の BD-ROM か確認してください。 接続テストを実行してください **(27 ページ)**。「ネットワークの接続テストに成功しました。」と表示されたときは、[基本設定] → [ネットワーク] → [情報] でプロキシサーバーの設定を確認してください **(27 ページ)**。また、インターネットの接続に問題がある可能性があります。プロバイダーにご相談ください。
BD-LIVE に対応したディスクを読み込むときに「BD のインターネット接続を許可しますか ?」と表示される。		BD-ROM のネットワーク接続証明書が無効なときに表示されます。接続を許可しないときは [いいえ] を選んでください。
•「WRT NG****」が表示される (**** は任意の文字列です)。 •「WRT FAILED」が表示される。		ソフトウェア更新が失敗したときに表示されます。もう一度、正しく更新できるか確認してください。
接続テストを実行すると「ネットワークの接続テストに成功しました。」以外のメッセージが表示された。	「LAN ケーブルが接続されていません。」と表示されますか。	本機とイーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) が正しく接続されているか確認してください。
	•「IP アドレスを取得できません。」と表示されますか。 •「 ゲートウェイから応答がありません。」と表示されますか。	• IP アドレスを自動で設定したときは、[情報] で正しく設定されているか確認してください **(27 ページ)**。詳しくは、イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の取扱説明書をご覧ください。 • IP アドレスを手動で設定してください。
	「IP アドレスが重複しています。」と表示されますか。	• イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 • 本機の IP アドレスを手動で設定したときは、本機または他機器の IP アドレスを設定し直してください。
	イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) は正しく動作していますか。	• イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) を再起動してください。

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか。	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください **(15 ページ)**。 • 電源コードを一度抜いて、数秒後に再びコンセントに差し込んでください。
本機の電源が自動でオフになる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	**HDMI 出力端子**に接続しているテレビの電源をオフにすると、連動して本機の電源がオフになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオフにしたくないときは、[コントロール機能] を [オフ] に設定してください **(26 ページ)**。
本機の電源が自動でオンになる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	**HDMI 出力端子**に接続しているテレビの電源をオンにすると、連動して本機の電源がオンになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオンにしたくないときは、[コントロール機能] を [オフ] に設定してください **(26 ページ)**。
本機を操作できない		• 使用温度範囲内でご使用ください **(48 ページ)**。 • 電源コードを一度抜いて、数秒後に再びコンセントに差し込んでください。
リモコンで操作できない。	本体から離れた場所で操作していませんか。	リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。
	電池がなくなっていませんか。	電池を交換してください **(5 ページ)**。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
テレビが正しく操作できない。		リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してお使いください。
使用中に本体が熱くなる。		本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。
接続しているテレビや AV アンプなどの入力が自動で切り換わる。	[コントロール機能] が [オン] に設定されていませんか。	本機が再生を開始したり本機の操作画面 (ホームメディアギャラリーなど) を表示すると、**HDMI 出力端子**に接続されたテレビや AV アンプの入力が自動で本機に切り換わることがあります。テレビや AV アンプの入力を自動で切り換えたくないときは [コントロール機能] を [オフ] に設定してください **(26 ページ)**。
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源がオンのときに電源コードを抜いていませんか。 • 停電が起きていませんか。	電源コードは、必ず本体前面部の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**を押して本体表示窓の「oFF」が消えてから抜いてください。特に、他機器の AC アウトレットに本機の電源コードを接続しているときは、その機器の電源と連動して本機の電源がオフになりますのでご注意ください。
「 処理に失敗しました。」と表示される。		何回も繰り返し表示されるときは、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください **(49 ページ)**。
USB メモリーが正しく動作しない。	USB メモリーが正しく接続されていますか。	• 本機の電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 • 本機の電源をオフにして、USB メモリーを接続しなおしてください **(15 ページ)**。
	USB 延長ケーブルを使用していませんか。	USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機が正しく動作しないことがあります。
	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを経由して **USB 端子**に USB メモリーを接続していませんか。	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを経由して USB メモリーを接続すると、動作しないことがあります。
	USB メモリーに複数のパーティションを設定していませんか。	USB メモリーに複数のパーティションを設定しているときは、認識しないことがあります。
	USB メモリーが書き込み禁止になっていませんか。	本機の電源をオフにしてから USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。
	USB メモリーのファイルシステムは FAT16 または FAT32 ですか。	FAT16 または FAT32 のファイルシステムで初期化されている USB メモリーだけ使用できます。
		USB メモリーによっては動作しないことがあります。

用語解説

▼ アングル (マルチアングル)
BD-ROM または DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルの映像を同時に記録できます。記録されているアングルからお好きなものを選んで楽しめます。

▼ イーサネット
同じ場所にある複数のパソコンなどを接続するローカルエリアネットワーク (LAN) の規格です。本機は 100BASE-TX に対応しています。

▼ インターレーススキャン (飛び越し走査)
映像の 1 画面を 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面 (フレーム) を表示します。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて (480i など) 表記してあります。

▼ インタラクティブオーディオ
BD-ROM のタイトルに収録されている音声です。たとえば、メニュー画面を操作しているときのクリック音などのことです。

▼ サブネットマスク
サブネット (分割して管理されるネットワーク) を表す部分が IP アドレスのどの部分かを識別するのに使われます。「255.255.255.0」のように表示されます。

▼ 視聴制限
「ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する」をご覧ください **(28 ページ)**。

▼ 第 2 映像 (セカンダリビデオ)
BD-ROM では、ピクチャーインピクチャー機能により主映像に重ねて表示される副映像が記録されているディスクがあります。この副映像を第 2 映像と言います。

▼ 第 2 音声 (セカンダリオーディオ)
BD-ROM では、主音声と混合される副音声が記録されているディスクがあります。この副音声を第 2 音声と言います。第 2 音声が第 2 映像用の音声として記録されているディスクもあります。

▼ デフォルトゲートウェイ
ネットワーク間でデータを通過させるルーターなどの通信機器です。送り先のゲートウェイが明示的に設定されていないネットワークにデータを送る際に使われます。

▼ ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは、通常の PCM 音声の数分の一のデータ量で最大 5.1 チャンネルの音声を収録する音声フォーマットです。

▼ ドルビーデジタルプラス
ドルビーデジタルの拡張・改良版であるドルビーデジタルプラスは、限られたデータ帯域を使って高品質なサラウンド音声を提供する高い効率性と柔軟性を備えた音声フォーマットです。BD-ROM では、最大 7.1 チャンネルのデジタル音声を収録できます。

▼ ドルビー TrueHD
元の音声データをまったく同じ音質で再現できる可逆圧縮 (ロスレス圧縮) 方式を使用した音声フォーマットです。BD-ROM では、96 kHz/24 bit では最大 8 チャンネル、192 kHz/24 bit では最大 6 チャンネルの音声を収録できます。

▼ ピクチャーインピクチャー（P in P）
主映像上に副映像を表示する機能のことです。BD-ROM では第 2 映像が収録されているものがあり、主映像に重ねて第 2 映像を表示できます。

▼ フレーム / フィールド
映像の 1 画面を構成する単位をフレームと言います。480i または 1080i などのインターレーススキャンの 1 フレームは、フィールドと言われる 2 枚の画面から構成されています。

▼ プロキシサーバー
内部ネットワークからインターネットに接続するときに、高速なアクセスや安全な通信などを確保するための中継サーバーです。

▼ プログレッシブスキャン (順次走査)
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて (480p など) 表記してあります。

▼ ポート番号
インターネット上の通信において、複数の相手と同時に接続するために IP アドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

▼ マルチセッション
マルチセッション / マルチボーダーとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッション / ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション / ボーダーといいます。

▼ リージョンナンバー (地域番号)
「リージョンナンバー (地域番号) について」**(8 ページ)** をご覧ください。

▼ リニア PCM
圧縮をしない音声信号です。

▼ AVCHD(Advanced Video Codec High Definition)
「DVD の再生について」**(8 ページ)** をご覧ください。

▼ AVCREC
「DVD の再生について」**(8 ページ)** をご覧ください。

▼ BDAV
BD の規格のうち、BS デジタルまたは地上デジタル放送の番組を録画するために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機では BDAV と表しています。

▼BD-J(Java) アプリケーション
BD ビデオでは、BD-J(Java) アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含む、よりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。

▼BD-LIVE
「BD の再生について」**(7 ページ)** をご覧ください。

▼BDMV
BD の規格のうち、パッケージされたハイビジョン (HD) 映画コンテンツのために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機では BDMV と表しています。

▼BONUSVIEW
「BD の再生について」**(7 ページ)** をご覧ください。

▼BUDA
BD-Live を使ってダウンロードしたファイルや、遊んだゲームのスコアなどの情報を USB メモリーに保存できる機能です。

▼Deep Color
「HDMI について」**(12 ページ)** をご覧ください。

▼DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)
ネットワークに接続された機器 (パソコンなど) に IP アドレスなどの設定情報を提供するためのものです。

▼DivX
「動画ファイルの対応フォーマット」**(9 ページ)** をご覧ください。

▼DNS(Domain Name System)
インターネットに接続された機器 (ホスト) のホスト名と IP アドレスを対応させるシステムです。

▼DRM
デジタルデータの著作権を保護する技術です。デジタル化された動画、画像、または音声などの品質は、複製や送受信の繰り返しによって劣化しません。このようなデジタルデータを著作者の許諾なしで流通や再生することを制限するための技術です。

▼DTS Digital Surround
DTS Digital Surround は、48 kHz/24 bit の音声を 5.1 チャンネルで収録する音声フォーマットです。

▼DTS-HD High Resolution Audio
不可逆圧縮方式を使用した音声フォーマットです。96 kHz/24 bit の 7.1 チャンネル音声を収録できます。

▼DTS-HD Master Audio
元の音声データとまったく同じ音質を再現できる可逆圧縮 (ロスレス圧縮) 方式を使用した音声フォーマットです。BD では、96 kHz/24 bit の 7.1 チャンネル音声または 192 kHz/24 bit の 5.1 チャンネル音声を収録できます。

▼HDMI(High-Definition Multimedia Interface)
「HDMI について」**(12 ページ)** をご覧ください。

▼IP アドレス
インターネットやローカルエリアネットワークに接続されている機器 (パソコンなど) を識別するための番号です。4 つに区切られた数字で表されます。

▼MAC(Media Access Control) アドレス
LAN カードなどのネットワーク機器に付与される機器固有の識別番号です。

▼MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、MPEG-1 Video · MPEG-2 Video · MPEG-4 Visual · MPEG-4 AVC などがあります。音声の規格には、MPEG-1 Audio · MPEG-2 Audio · MPEG-2 AAC などがあります。

▼VC-1
マイクロソフトが開発した動画圧縮方式で、米国映画テレビジョン技術者協会 (SMPTE) によって規格化されたものです。BD には、この方式で動画が記録されているディスクがあります。

▼x.v.Color
「HDMI について」**(12 ページ)** をご覧ください。

▼USB(Universal Serial Bus)
USB は、周辺機器をパソコンに接続するための標準規格です。

おもな仕様

型番			BDP-4110
型名			ブルーレイディスクプレーヤー
定格電圧			AC100 V
定格周波数			50 Hz/60 Hz
消費電力			16 W
待機時消費電力			0.3 W
本体質量			2.1 kg
外形寸法 (突起部含む)			430 mm(幅) × 55 mm(高さ) × 233 mm(奥行)
許容動作温度			+5 ℃～ +35 ℃
許容動作湿度			5 %～ 85 % (結露のないこと)
出力端子	HDMI		1 系統、19 ピン (5 V、250 mA)
	映像出力	映像	1 系統、ピンジャック：1.0 Vp-p(75 Ω)
	音声出力	2 チャンネル (左 / 右)	1 系統、ピンジャック
		音声出力レベル	200 mVrms(1 kHz、–20 dB)
		周波数特性	4 Hz ～ 88 kHz(192 kHz サンプリング)
	デジタル音声出力	光	1 系統、角型光ジャック
LAN			1 系統、イーサネットジャック (100BASE-TX)
USB			1 系統、A タイプ

お知らせ

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機では、画面表示に NEC のフォント「FontAvenue」を使用しています。FontAvenue は NEC の登録商標です。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

保証とアフターサービス

保証書 (別添) について

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

ご注意

・「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします **(39 ページ)**。

補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に **41 ～ 45 ページ**の「故障かな？と思ったら」および「エラーメッセージ (例)」の項目をご確認ください。

それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、裏表紙に記載の修理受付窓口またはお買い求めの販売店へご依頼ください。

本品は持ち込み修理対応製品です。

故障して修理をお受けになる場合は、修理受付窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ブルーレイディスクプレーヤー
- 型番：BDP-4110
- お買い求め日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作 (使用したディスクも) で、どうなる」といった詳細

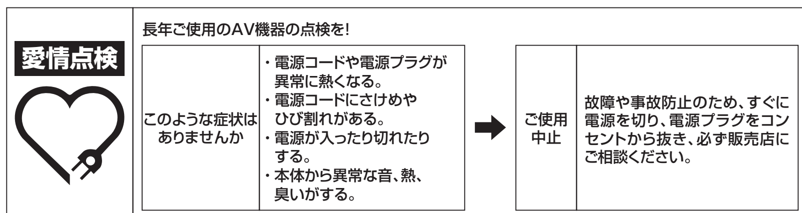
保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。



K026*_A1_Ja

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆ 北海道サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆ 東北サービスセンター	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX	024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX	019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX	03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX	03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX	047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX	025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX	045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX	046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX	0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX	054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX	055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX	076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052　吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093　神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224　姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014　和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444　京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141　奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003　広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975　岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934　鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006　周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080　高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013　松山市山越5-12-8

●九州地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044　北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201　佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118　熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921　大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821　宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046　鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1 F

●沖縄県			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073　那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121	

平成23年1月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

ブルーレイディスクプレーヤーに関するお知らせ

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。 **http://pioneer.jp/support/product/blu.html**

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120－944－222　一般電話　044－572－8102

■ファックス　044－572－8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーハパイオニア）　一般電話　044－572－8100

■ファックス　0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－987－1120

■ファックス　098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　一般電話　044－572－8107

■ファックス　0120－5－81096

平成23年1月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.043



72-BDP130-110B2

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号